

令和 6 年度当初予算 (案) (主要施策)

令和 6 年 2 月 8 日
財務部 財政課

県政の重点施策

I

若者・Z世代が輝く兵庫

1. 「学びやすい兵庫」の実現
2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現
3. 「住みやすい兵庫」の実現
4. 「働きやすい兵庫」の実現

II

活躍の場が広がる兵庫

1. 2025大阪・関西万博に向けた取組の加速
2. 万博を見据えた観光施策の推進
3. スポーツ・芸術文化の振興
4. 交流・発展を支える社会基盤の充実・強化
5. 次世代産業の創出
6. 地域に根ざした産業の活性化
7. 持続可能な農林水産業の実現
8. 循環型社会の推進

III

安全安心に包まれる兵庫

1. 誰もが安心して暮らせる環境づくり
2. 暮らしを支える基盤の強化

IV

県政改革の推進

1. 県政改革の推進
2. 親しみやすい情報発信の推進

目次

I

若者・Z世代 が輝く兵庫

1. 「学びやすい兵庫」の実現

- ◆ ① (新) 県立大学の授業料等無償化 518,515千円 …… 17
- ◆ ② (拡) 私立高等学校等生徒授業料軽減補助 988,406千円 …… 18
- ◆ ③ (拡) 奨学金返済支援制度 167,883千円 …… 19
- ◆ ④ (新) HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト① 12,960千円 …… 20
- ◆ ⑤ (新) HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト② 51,000千円 …… 21
- ◆ ⑥ (拡) HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト③ 44,600千円 …… 22
- ◆ ⑦ 県立学校施設の環境充実事業 教育投資の強化① 3,128,560千円 …… 23
- ◆ ⑧ ひょうごの未来を担う高校生等の部活動等応援事業 教育投資の強化② 567,000千円 …… 24
- ◆ ⑨ 新たな特別支援学校の整備 教育投資の強化③ 2,481,477千円 …… 25
- ◆ ⑩ (新) 特別支援学校における通学環境の改善 122,355千円 …… 26
- ⑪ (新) マイスターハイスクール事業 8,000千円 …… 27

目次

I
若者・Z世代
が輝く兵庫

⑫ (新) 地域人材を活用したひょうご学び支援事業	70,740千円	28
⑬ (新) 「ひょうご教育の日 (仮称)」 制定記念事業	4,000千円	29
2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現		
◆ ① (新) 不妊治療支援の強化	205,700千円	30
◆ ② (新) 放課後児童クラブ夏休み開所支援事業	9,752千円	31
◆ ③ (新) 保育所における放課後児童クラブ開設への支援モデル事業	8,000千円	32
④ (拡) 子ども食堂等への支援	19,525千円	33
◆ ⑤ (拡) ひょうご不登校対策プロジェクト	221,543千円	34
◆ ⑥ (拡) ひきこもり対策総合支援事業	15,340千円	35
◆ ⑦ (新) 学校との連携強化による地域の相談支援機能の充実	20,833千円	36
◆ ⑧ (新) ケアリーバーへの支援の充実	21,707千円	37
◆ ⑨ (拡) ヤングケアラー支援体制拡充事業	12,336千円	38
⑩ (拡) 児童養護施設や里親の下で育つ子ども応援プロジェクト	38,200千円	39

目次

I

若者・Z世代 が輝く兵庫

3. 「住みやすい兵庫」の実現

- ◆ ① (新) 県営住宅における子育て世帯への支援
270,000千円 …… 40
- ◆ ② (新) 県営青木団地PFI建替事業
6,016千円 …… 41
- ◆ ③ (新) 子育て住宅総合支援事業
114,400千円 …… 42

4. 「働きやすい兵庫」の実現

- ◆ ① (拡) 高校生の県内就職促進事業
7,793千円 …… 43
- ◆ ② (拡) 理工系人材獲得促進事業
7,945千円 …… 44
- ◆ ③ (新) 外国人材就職・定着支援事業
13,195千円 …… 45
- ④ (拡) 外国人留学生に対する県内企業魅力発信事業
8,665千円 …… 46
- ◆ ⑤ (新) デジタル技術を活用した雇用導入促進事業
15,913千円 …… 47
- ◆ ⑥ (拡) 観光地域づくり人材育成事業
21,941千円 …… 48
- ◆ ⑦ (新) 地域公共交通事業者人材確保支援事業
29,000千円 …… 49
- ⑧ (拡) 若者起業人材育成事業
18,126千円 …… 50
- ⑨ (拡) 起業家支援事業（若者枠）の創設
33,000千円 …… 51

目次

I

若者・Z世代 が輝く兵庫

- ◆ ⑩ (新) ひょうごSDGsワーケーション・スタート推進事業
3,000千円 …… 52
- ◆ ⑪ (拡) ひょうごミモザ企業認定の推進
7,916千円 …… 53

目次

Ⅱ 活躍の場が広がる兵庫

1. 2025大阪・関西万博に向けた取組の加速

- ◆ ① (拡) ひょうごフィールドパビリオンプロモーション事業
135,821千円 …… 54
- ◆ ② (拡) ひょうごフィールドパビリオンプログラム磨き上げ事業
30,795千円 …… 55
- ◆ ③ (拡) 兵庫県ゾーン・兵庫県立美術館ギャラリー棟の展示企画・
運営・誘客促進 690,416千円 …… 56
- ◆ ④ (新) 兵庫県版テーマウィークプロモーション
3,770千円 …… 57
- ◆ ⑤ (新) ひょうご万博楽市・楽座の実施 147,000千円 …… 58
- ◆ ⑥ (新) 子どもの夢プロジェクト 16,112千円 …… 59
- ⑦ (新) ひょうごフィールドパビリオンを活用した体験学習魅力
発信事業 1,301千円 …… 60
- ⑧ (新) 健口から始めるウェルビーイング向上イベント
3,891千円 …… 61
- ⑨ (拡) 障害児等職業体験事業 5,200千円 …… 62
- ⑩ (新) 大阪・関西万博開催に向けた交通対策
4,995千円 …… 63

目次

Ⅱ

活躍の場が広がる兵庫

2.万博を見据えた観光施策の推進

- ◆ ① (新) ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア形成促進事業
32,000千円 …… 64
- ② (拡) 兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進事業
14,036千円 …… 65
- ③ (新) 他府県連携によるインバウンド誘客促進
6,500千円 …… 66
- ④ (新) 観光型MaaS等を用いた周遊観光の推進
9,900千円 …… 67
- ◆ ⑤ (拡) 国際交流事業等とあわせた海外プロモーションの実施
23,048千円 …… 68
- ⑥ (新) インドとの経済交流推進事業
8,016千円 …… 69
- ⑦ (新) アニメツーリズム地域支援事業
1,000千円 …… 70
- ⑧ (新) 淡路夢舞台温室におけるシンガポール植物園と連携した
取組
29,016千円 …… 71
- ⑨ (新) 淡路夢舞台温室リニューアル記念事業
4,117千円 …… 72
- ⑩ (新) 県立都市公園利便性向上事業
7,152千円 …… 73

目次

Ⅱ

活躍の場が広がる兵庫

3.スポーツ・芸術文化の振興

- ◆ ① プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト
60,000千円 …… 74
- ◆ ② (新) 子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト
5,000千円 …… 75
- ◆ ③ (新) ユニバーサルなスポーツ施設調査・検討事業
1,042千円 …… 76
- ◆ ④ (新) 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会負担金
100,000千円 …… 77
- ◆ ⑤ (拡) ひょうごプレミアム芸術デーの実施 11,310千円 …… 78
- ◆ ⑥ (新) アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト
6,192千円 …… 79
- ⑦ (拡) 障害者芸術「する・みる・ささえる」応援プロジェクト
2,767千円 …… 80
- ⑧ (拡) HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト
4,559千円 …… 81

目次

II

活躍の場が広がる兵庫

5.次世代産業の創出

◆ ① (拡) 水素ステーション整備促進事業	7,821千円	82
② (新) 水素海外展開チャレンジ事業	12,282千円	83
◆ ③ (拡) 空飛ぶクルマ実装促進事業	116,269千円	84

6.地域に根ざした産業の活性化

① (拡) ひょうご産業SDGs認証事業	17,619千円	85
◆ ② (新) ひょうごSDGs経営大賞実施事業	1,594千円	86
◆ ③ (拡) ひょうごTECHイノベーションプロジェクト(複合枠の創設)	29,000千円	87
④ 中小企業向け制度融資	607,905,905千円	88
⑤ (拡) ものづくり支援センター運営事業	59,966千円	89

7.持続可能な農林水産業の実現

◆ ① (新) 有機農業アカデミー開設事業	78,630千円	90
◆ ② (新) CSA手法拡大支援事業	2,388千円	91
◆ ③ (新) 県産有機農産物学校給食活用促進事業	1,920千円	92
◆ ④ (新) 地域有機農業塾開設支援事業	3,750千円	93
◆ ⑤ (新) SDGs酒米・酒生産支援事業	4,519千円	94
⑥ (拡) 水稲オリジナル品種普及推進事業	5,000千円	95
◆ ⑦ (新) ひょうごオープンファーム強化事業	10,283千円	96
⑧ (拡) 但馬牛受精卵移植推進事業	4,673千円	97

目次

Ⅱ

活躍の場が広がる兵庫

8.循環型社会の推進

- ◆ ① (新) ペロブスカイト太陽電池実証促進事業2,500千円 …… 98
- ◆ ② (新) 脱炭素化に取り組む民間事業者への支援
26,691千円 …… 99
- ◆ ③ (拡) PPA方式等による太陽光発電設備導入補助事業
15,000千円 …… 100
- ④ (新) 地域脱炭素移行・再エネ推進事業 301,180千円 …… 101
- ◆ ⑤ (拡) 脱炭素型消費行動促進事業 6,585千円 …… 102
- ⑥ (新) 暮らしに根ざした資源循環の推進 8,746千円 …… 103
- ◆ ⑦ (拡) ひょうごの海を活用したブルーカーボンの創出
10,582千円 …… 104
- ⑧ (新) ナガエルツルノゲイトウへの抜本的対策
16,330千円 …… 105
- ⑨ (新) 県立総合射撃場オープニング式典の開催
3,000千円 …… 106
- ⑩ (新) 不法投棄の未然防止に向けた効果的な対策の実施
815千円 …… 107

目次

Ⅲ

安全安心に包
まれる兵庫

1. 誰もが安心して暮らせる環境づくり

- ◆ ① (新) 特殊詐欺緊急総合対策 1,500,000千円 …… 108
- ② (新) 特殊詐欺注意喚起オートコールシステムの整備 4,083千円 …… 109
- ◆ ③ (新) 带状疱疹ワクチン接種助成事業 60,000千円 …… 110
- ◆ ④ (拡) 介護業務における労働環境改善・業務効率化支援事業 1,500,000千円 …… 111
- ⑤ (新) 民の力を活用した特定技能外国介護人材確保事業 1,000千円 …… 112
- ⑥ (新) 自立支援・重度化防止推進事業 988千円 …… 113
- ⑦ (新) 入院者訪問支援事業 1,101千円 …… 114
- ⑧ (拡) 障害者ピアサポート研修事業 3,000千円 …… 115
- ⑨ (拡) 自転車ヘルメット着用促進事業 7,372千円 …… 116
- ⑩ (新) 暗号資産追跡ツールの整備 4,437千円 …… 117
- ◆ ⑪ (新) 交番・駐在所の機能強化 (ネットワーク整備) 15,734千円 …… 118
- ◆ ⑫ (拡) 「安全安心アプリ」の導入(県民に対する防犯情報等の発信) 6,248千円 …… 119

目次

Ⅲ

安全安心に包
まれる兵庫

◆ ⑬ (新) 有機フッ素化合物 (PFAS) への対応	11,027千円	120
⑭ (新) 大麻グミ等の危険ドラッグ対策事業	1,980千円	121
⑮ (新) DV防止・被害者保護推進強化事業	10,760千円	122
⑯ (拡) 依存症にかかる自助グループ活性化及び啓発促進等事業	11,149千円	123
◆ ⑰ (新) 人権ダイバーシティ推進事業	3,000千円	124
◆ ⑱ (拡) SNS誹謗中傷等対策強化事業	7,816千円	125
⑲ (新) 権利擁護支援体制整備・拡充事業	1,543千円	126
◆ ⑳ (拡) 犯罪被害者等への支援の充実	7,822千円	127
◆ ㉑ (拡) 軽・中度難聴児補聴器購入費等助成事業	7,090千円	128

2.暮らしを支える基盤の強化

◆ ① (新) 医師の働き方改革関係事業	747,539千円	129
◆ ② (新) 新興感染症発生時の体制確保の促進	365,467千円	130
③ 総合衛生学院建替整備事業	2,197,793千円	131
④ (新) へき地診療所等オンライン診療実証モデル事業	10,915千円	132

目次

Ⅲ

安全安心に包
まれる兵庫

⑤ (新) がん検診受診率向上対策推進事業	2,463千円	……	133
⑥ (新) 先天性サイトメガロウイルス感染症調査研究事業	2,250千円	……	134
⑦ (新) 循環器病の包括的な支援体制構築推進事業	9,000千円	……	135
⑧ (新) 訪問歯科衛生士人材育成事業	1,211千円	……	136
⑨ (新) 入院時食事療養支援事業	206,324千円	……	137
⑩ 新型コロナウイルス対策事業	30,366千円	……	138
⑪ (新) 病院DX 推進事業	600,000千円	……	139
◆ ⑫ (新) 阪神・淡路大震災30年追悼式典	17,700千円	……	140
⑬ (拡) 防災ツーリズム推進事業	13,738千円	……	141
◆ ⑭ (新) 南海トラフ巨大地震対策の充実強化事業	40,183千円	……	142
◆ ⑮ (新) 創造的復興の理念を活かしたウクライナ支援事業	30,000千円	……	143
◆ ⑯ 社会基盤の充実・強化（公共事業・直轄事業）	114,522,111千円	……	144
◆ ⑰ 災害に強い県土づくりの推進（県単独事業）	9,700,000千円	……	146
◆ ⑱ 安全安心な日常の維持管理の強化	2,000,000千円	……	148

目次

Ⅲ

安全安心に包
まれる兵庫

⑱ (新) 衛星画像による広域漏水調査支援事業	160,908千円	149
⑳ (新) 地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業	9,494千円	150
㉑ (新) ビッグデータ活用等渋滞対策検討事業	18,810千円	151

目次

IV

県政改革の 推進

1. 県政改革の推進

- ◆ ① (新) 新しい働き方の推進 269,767千円 …… 152
- ◆ ② (拡) 庁舎再編関係経費 901,830千円 …… 153
- ③ (拡) 更なる“攻め”のファンドレイジング
129,623千円 …… 154
- ④ (新) 県民生活向上に向けて必要となる業務改善に資する取組
145,306千円 …… 155

2. 親しみやすい情報発信の推進

- ① (新) 多様な地域人材の参画による県政発信強化プロジェクト
4,000千円 …… 156

1. 「学びやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【新】 ■ 県立大学の授業料等無償化

518,515千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	518,515

➤ 県が設置している県立大学（兵庫県立大学、芸術文化観光専門職大学）について、**県内在住者の入学金及び授業料を学部、大学院ともに所得にかかわらず無償化**

○ 入学金及び授業料の無償化

県内在住者に対する入学金（282,000円）および授業料（535,800円/年）を免除
 ※在學生と新入生との支援格差を考慮し高学年より段階的に実施

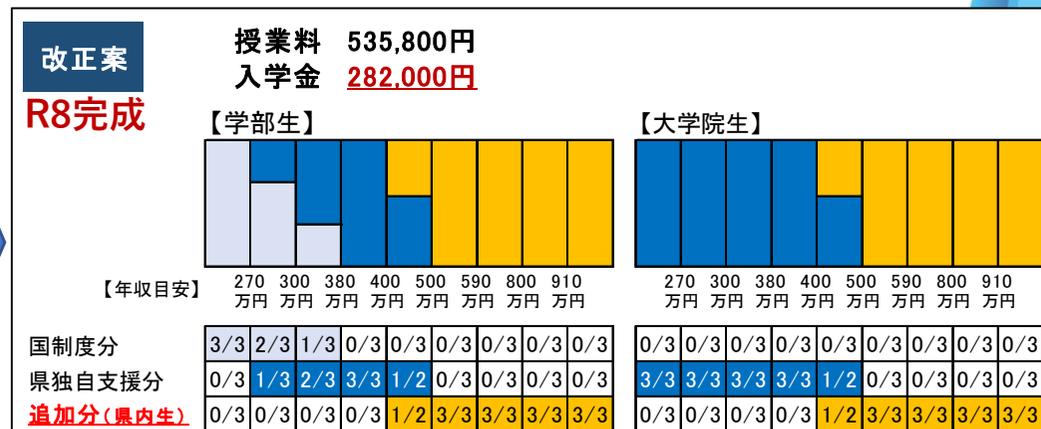
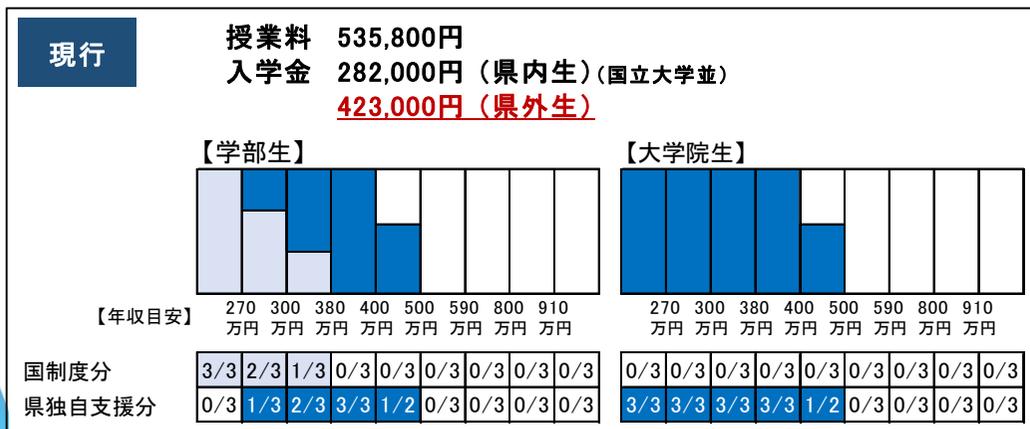
○ 県による独自支援の継続

県外生等に対する授業料の支援を引き続き実施

- ・ 支援内容 年収400万円未満：授業料の全額を免除
 年収500万円未満：授業料の半額を免除

○ 県外生の入学金の引き下げ（R7以降）

県外生の入学金について、国立大学並みに引き下げ（423,000円⇒282,000円）



I 若者・Z世代が輝く兵庫

【拡】 ■ 私立高等学校等生徒授業料軽減補助

988,406千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	988,406

➤ 就学機会を確保するため、国の就学支援金に**県単独加算を拡充し、経済的負担軽減を実施**

○ 実施内容

中間所得者層に生じる支給格差解消を図るため当該所得者層への支援を実施

※子ども3人以上の多子世帯への1万円加算を引き続き実施

〈 拡充内容〉

- ・ 年収590～730万円未満世帯の補助単価を**2万円**引き上げ（10万円 → **12万円**）
- ・ 年収730～910万円未満世帯の補助単価を**1万円**引き上げ（5万円 → **6万円**）

【現行制度】

年収目安	国就学支援金	県授業料軽減	計
590万円未満	396,000円	44,000円	440,000円
590～730万円未満	118,800円	100,000円	218,800円
730～910万円未満	118,800円	50,000円	168,800円

【拡充後制度】

国就学支援金	県授業料軽減	計
396,000円	44,000円	440,000円
118,800円	120,000円	238,800円
118,800円	60,000円	178,800円

支援拡充

○ 補助対象者

- ・ 私立高等学校（全日制）県内校通学者
- ・ 私立高等学校近隣府県 県外校通学者※1
- ・ 私立専修学校及び各種学校（高等課程に類する課程）県内校通学者※2

[補助額]

※1 京都府：県内私立高校の1/2

その他近隣府県：県内私立高校の1/4（大阪府、岡山県、鳥取県、滋賀県、奈良県、和歌山県及び徳島県）

※2 県内私立高校の1/2

【拡】 ■ 奨学金返済支援制度

167,883千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	167,883	0	0

- 若者の県内就職及び定着を促進するため、**従業員の奨学金返済負担軽減を行う企業等に対して、費用の一部を支援**（若者・Z世代への支援を強化するため、補助期間等を拡充）

○補助対象

対象企業 本社が県内にある中小企業・社会福祉法人等

対象従業員 日本学生支援機構の奨学金受給者、県内事業所に勤務する正社員、40歳未満の者

○補助期間 対象者1人あたり最大17年間

補助期間	対象企業
5年	県内に本社がある中小企業
10年	①SDGs宣言企業、②フレッシュミモザ企業、 ③ワーク・ライフ・バランス宣言企業 ①～③のいずれか2つ以上を取得した企業
17年	①SDGs認証企業、②ミモザ企業、 ③ワーク・ライフ・バランス認定企業またはワーク・ライフ・バランス表彰企業 ①～③のいずれか2つ以上を取得した企業

○補助額 年間返済額の2/3（上限12万円）

企業：県 = 1：2

担当課：産業労働部労政福祉課雇用就労班

連絡先：078-362-3357（内線3717）

担当課：福祉部高齢政策課介護人材対策班

連絡先：078-362-4401（内線2889）

**【新】 ■HYOGOグローバルリーダー育成
プロジェクト①**
英語力向上のための研究と実践

12,960千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
6,480	0	0	6,480

- 県内高校生の英語の4技能（Speaking、Listening、Writing、Reading）の向上とCEFR※ A2の目標達成を目指すため、**英語教育重点指定校（仮）を設定し、BYOD端末を活用して、英語学習アプリとALTによる指導を効果的に融合させる授業実践及び英語学習指導**を実施

○指定期間 3年間

○対象学年 令和6年4月時点の高校1年次（3年次の成績で効果測定）

※CEFR：Common European Framework of Reference for Languages（セフアール）

外国語によるコミュニケーション能力の評価等に用いられる国際基準の指標。

例) A2 = 英検準2級～2級 = TOEFL iBT ～41点

文科省は『第4期教育振興基本計画』（R5～R9年度）において、「CEFR A2相当以上を達成した生徒の割合をR9までに60%以上」を目標としている

（参考）導入する英語アプリについて

○概要：英語4技能の能力向上に役立ち、かつ目標（英語力・志望校等）設定・管理機能を有するもの

○活用例：小テスト等の正答率分析、発音練習、授業での学力レベルの把握 等

**【新】 ■HYOGOグローバルリーダー育成
プロジェクト② 高等学校探究活動の充実**

51,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	51,000

- 大学等との連携を進め、課題発見力を高めて新たな学びに踏み出すなど、**探究活動の充実を図り、自身の学びを深めるため、SSH並の県指定研究事業を推進**

○ひょうごリーダーハイスクール（仮）による実践研究：50,000千円

社会の課題発見・解決に取り組み、最先端の学びにより、グローバルに活躍できる人材育成を目指す学校を「ひょうごリーダーハイスクール」（仮）として指定

- ・内 容 文理融合型や国際系等の探究の研究、県内大学等と連携した研究、留学生等ネイティブスピーカーとの文化交流、地域課題発掘・解決方策の提案等
- ・対象校 10校
- ・期 間 1年間（最長5年）

○研究成果の普及：1,000千円

SSH等の国指定事業及びひょうごリーダーハイスクール（仮）指定校による全県的な発表会を実施し、研究成果を全県へ普及

- ・内 容 研究発表会、指定校以外も参加できる普及イベント等の開催

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【拡】 ■HYOGOグローバルリーダー育成プロジェクト③ 海外留学のサポート

44,600千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
25,200	2,500	0	16,900

- 異文化に触れ、興味・関心、意欲を高め、自身の学びの深化につながるための生徒の留学を後押しするため、**留学支援金を給付**するとともに、今年度から新たに**官民連携のHYOGO高校生「海外武者修行」応援プロジェクト**を開始

コース		日数	補助金額 (上限)	対象人数	その他	予算額	
短期	I 短期留学	10日～ 1ヶ月	6万円	420名	国費事業に採択されたプログラムを対象	25,200千円 (全額国庫)	
	県費	【新】 II チャレンジ 留学 (海外武者修行)	約1ヶ月	50万円	10名	個人で民間団体等が主催するプログラムに参加する生徒等が対象 留学先で兵庫県の魅力を発信する活動を必ず行う	5,000千円 (1/2基金)
		III はじめて 留学	7日～ 1ヶ月	20万円	40名	以前に留学経験が無い生徒が対象 奨学資金貸与基準以下の世帯を対象	8,000千円
長期	【拡】 IV 長期留学	1年	40万円	16名	個人で民間団体等が主催するプログラムに参加する生徒が対象	6,400千円	

私立学校に関すること
チャレンジ留学に関すること
その他に関すること

担当課：総務部教育課私学教育班
担当課：産業労働部国際局国際課交流企画班
担当課：教育委員会高校教育課教育指導班

連絡先：078-362-3104 (内線2526)
連絡先：078-362-3026 (内線2095)
連絡先：078-362-9447 (内線5712)

■ 県立学校施設の環境充実事業

教育投資の強化①

3,128,560千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	2,580,100	548,460

➤ 学校施設の環境改善として、選択教室や体育館の空調整備、発展的統合に伴う整備など、**施設**の環境改善を集中的に実施

○ 選択教室への空調整備：382,500千円

- ・ 対 象 県立学校の選択教室97室
※特別教室5教室に加え、少人数教育等で利用が増えている選択教室

○ 体育館(避難所)の空調整備：935,000千円

- ・ 内 容 避難場運営における被災者の熱中症対策等、体育館への空調整備を早期に実施
- ・ 対 象 避難所指定を受けている高等学校17校

○ 発展的統合に伴う講義棟等の整備：1,304,642千円

- ・ 対 象 発展的統合を行う高等学校
- ・ 活用方法 大学等の研究者・地域人材等の講義の聴講、成果発表等

○ 県立学校の緊急修繕・環境改善対策：506,418千円

- ・ 内 容 緊急修繕・環境改善（消防設備の漏水、教室棟の床の破損等）

■ひょうごの未来を担う高校生等の 部活動等応援事業 教育投資の強化②

567,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	72,000	187,400	307,600

➤ 部活動など学校生活を応援することで学校への愛着を形成し、**シビックプライドを醸成**

○備品等整備：245,000千円

生徒が充実した学校生活を送ることができる環境整備として、**授業や部活動で使用する用具・備品、各校の状況・特色に応じた整備を集中的に実施**

※生徒の意見を踏まえた整備計画（R5）に基づき、順次整備

①全校で統一的な整備を実施(一律、学級・児童生徒数配分)

- ・授業・部活動で多く使用する球技用器具・ボール等

②各校判断で整備(部活数、学級・児童生徒数配分)

- ・授業・部活用備品(電子ピアノ、3Dプリンタ、ドローン、被服用ミシン等)
- ・学習環境の充実(生徒用机の天板拡張用具(タブレット対応)等)
- ・図書の実(図書・新聞購入、本棚等)
- ・生活環境の向上(下駄箱の更新・個人用ロッカー等)

○グラウンドの芝生化のモデル整備：322,000千円

部活動を行う生徒からの要望のある**学校グラウンドの芝生化のモデル整備を実施**

- ・R6実施校 社高校、星陵高校

■新たな特別支援学校の整備

教育投資の強化③

2,481,477千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
214,201	0	1,362,000	905,276

- **県立特別支援学校における教育環境整備方針**に基づき、豊岡聴覚特別支援学校と、出石特別支援学校を発展的に統合するとともに、東播磨地域における3校一体整備による狭隘化対策を実施

○豊岡聴覚特別支援学校・出石特別支援学校の発展的統合

- ・ **但馬地域新設特別支援学校（仮称）の整備：924,330千円**

所在地：豊岡市九日市上町（現J A たじま所有地）

開校時期：令和9年4月（予定）

【完成イメージ図】



いなみ野特別支援学校

○東播磨地域の知的障害特別支援学校狭隘化対策

- ・ **いなみ野特別支援学校の改築：571,153千円**

所在地：加古郡稲美町国安

供用開始：令和9年4月（予定）

- ・ **東播磨地域新設特別支援学校（仮称）の整備：450,668千円**

所在地：加古川市平荘町山角（加古川市立平荘小学校跡地）

開校時期：令和8年4月（予定）

※R8.4～一部開校、R9.4～全面共用開始

- ・ **東はりま特別支援学校の校舎増築：535,326千円**

所在地：加古郡播磨町北古田

供用開始：令和7年10月（予定）



東播磨地域新設特別支援学校（仮称）

【新】 ■特別支援学校における通学環境の改善

122,355千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	41,600	80,755

➤ 特別支援学校の**スクールバスの長時間乗車の改善や児童生徒及び保護者の負担を軽減するため、運行基準等の見直しを実施**

○最長乗車時間の引き下げ（90分→75分）

- ・**スクールバスの増車（いなみ野、姫路しらさぎ、西はりま、出石、のじぎく）**
最長乗車時間の15分引き下げに伴う運行コース増加(+5コース)に対応

※最長乗車時間の全国平均：78分

- ・**高速道路の利用（姫路）**

○スクールバスの位置情報確認サービスの導入（遅延情報の提供）

スクールバスの現在位置や運行状況をリアルタイムに取得できる情報提供サービスを導入

（参考）通学支援検討委員会での主な提言（R5.9）

- ・長時間乗車は、児童生徒に身体的・精神的な負担を与え、教育活動に影響を及ぼすことから、**最長乗車時間を全国平均（78分）以下を目安**にした目標設定とすること
- ・バス停で待つ児童生徒や保護者等の負担軽減に向け、交通渋滞等の**遅延情報をタイムリーに提供**すること

【新】 ■ マイスター・ハイスクール事業

8,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
8,000	0	0	0

➤ 専門高校と産業界、教育関係機関、自治体、支援機関等の連携体制等により、地域産業の持続的な成長を牽引する**最先端の職業人材を育成**

○実施校

県立姫路工業高校（他に連携校として、県立工業高校2校を指定予定）

○実施期間

2年間

○実施内容

バッテリー人材※育成に向け、以下の取組を実施

- ・ 企業・高専・大学等への見学
- ・ 企業等の技術者による指導
- ・ 近畿地区拠点校（大阪、和歌山）との情報交換会
- ・ 教員・生徒による成果発表会及び特別講演会 等

※バッテリー人材・・・電池に関する専門的な知識・技術を習得し、カーボンニュートラル社会の実現に貢献する人材

【新】 ■地域人材を活用したひょうご学び支援事業

70,740千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
23,580	0	0	47,160

- 「確かな学力」の育成を図るため、**授業中や放課後に地域人材を活用した学習補充及び学習支援**を実施し、市町及び学校における学力向上に向けた取組を促進

○実施内容

- ・授業中、放課後の学習支援
- ・授業内でつまずきポイント指導事例集を活用した個別学習支援
- ・放課後における反復復習プリントを活用した個別学習や補充学習
- ・外国語授業における英語に堪能な人材による授業補助
- ・学びの意欲を高めるきっかけをつくる多様な学習活動の充実
- ・外部講師等による出前授業

等

○対象校

- ・公立小・中学校及び義務教育学校

○実施日数 60日（2日×30週）程度

【新】 ■ 「ひょうご教育の日（仮称）」 制定記念事業

4,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	4,000

➤ すべての県民が兵庫の教育について考える機運を高めるとともに、家庭や地域等、社会全体で子どもの成長を支える環境づくりを促進するため、「ひょうご教育の日（仮称）」（11月1日（予定））を制定するとともに、機運醸成に資する取組を実施

○ 「ひょうご教育の日（仮称）」制定記念フォーラムの開催：1,000千円

- ・実施日 令和6年11月1日（予定）
- ・内容 高校生による記念演奏、基調講演、パネルディスカッション
小・中・高校・特別支援学校の児童生徒等による取組事例の発表

○ 地域教育イベント等の実施：3,000千円

- ・実施期間 「兵庫の教育推進月間（11月）」期間中で実施
- ・内容 教育事務所単位で児童生徒・保護者や地域住民を対象にした地域特性を活かした取組を実施（各教育事務所ごとに実施）

2. 「子どもを産み育てやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【新】 ■ 不妊治療支援の強化

205,700千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	205,700	0	0

- 不妊治療支援検討会（令和5年6月設置）からの提言を受け、**安心して不妊治療が受けられる体制整備**に向けて、取組を強化
 - 保険適用外の先進医療費助成：180,000千円**
 - ・対象 県内医療機関で先進医療を受けた者（43歳未満）
 - ・助成額 胚移植1回あたり3万円（回数制限なし）
 - 先進医療にかかる通院交通費助成：7,000千円**
 - ・対象 本人（同行者は対象外）
 - ・助成額 胚移植1回の治療にかかった通院交通費の合計額から5,000円を控除した額の1/2以内
 - ・対象手段 鉄道運賃、特急料金、バス、自家用車、高速道路料金
 - プレコンセプションケア推進：2,000千円**
高校生、大学生を対象に妊娠・出産を含む健康についての出前講座などを実施
 - 普及啓発：8,000千円**
SNSやチラシ、ポスターによる情報発信（医療機関、行政機関、学校、企業など）
 - 審査事務費：8,700千円**
県民からの申請はe-ひょうごを活用した**オンライン申請に対応し、申請者の負担を軽減**

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【新】 ■放課後児童クラブ夏休み開所支援事業

9,752千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	9,752

- 夏休み期間中のみ放課後児童クラブを利用希望する保護者(パートタイマー等)のニーズに
 応えるため、**新たに夏休みに特化した放課後児童クラブを開所する場合の運営費を、国庫
 事業に上乗せした県独自事業を創設**

- 対象市町** : 待機児童が10名以上発生している市町
- 補助基準額** : 883千円 (20人未満クラスの場合)、1,066千円 (20人以上クラスの場合)
- 負担割合** : 県独自事業分 県1/2、市町1/2 (国庫事業分 国1/3、県1/3、市町1/3)

区分	開所日数	開所時間	職員配置
県独自事業	夏休み中に20日以上	8時間以上	支援員等2名以上
国庫事業 (放課後居場所緊急対策事業)	週3日以上	2時間以上	専門スタッフ1名以上

(参考)

区分	開所要件	開所時間	職員配置
既存事業 (放課後児童健全育成事業)	年間200日以上	8時間以上	支援員等2名以上

【新】 ■ 保育所における放課後児童クラブ 開設への支援モデル事業

8,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	5,400	2,600

- 高止まりしている放課後児童クラブの待機児童数を減少させるため、**保育所の空き教室を活用した放課後児童クラブの開設を支援**

○ 実施内容

- ・ 放課後児童クラブ開設に必要な事務を行う職員雇上経費の補助
学校などの関係機関との調整等にかかる人件費を支援
- ・ 放課後児童クラブを開設するのに必要な国庫補助対象外経費の補助
ボールの飛び出し等を防止するためのフェンス設置工事に係る費用を支援

- 負担割合 県1/3、市町1/3（任意随伴）、事業者1/3

○ 事業スキーム図

【放課後児童クラブ整備国庫補助事業】

- ・ 補助基準額：31,298千円
- ・ 負担割合：国1/3、県1/3、市町1/3
- ・ 対象経費：学校外でクラブを創設する場合の経費
(改修費・備品費等)

+

【県単独事業】

- ・ 補助基準額：4,000千円
- ・ 負担割合：県1/3、市町1/3（任意随伴）、事業者1/3
- ・ 対象経費：準備スタッフ雇上、フェンス設置



保育所機能の
維持・充実

+

クラブ開設を
促進

【拡】 ■ 子ども食堂等への支援

19,525千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	19,525	0	0

➤ 貧困家庭等の子どもの支援や、**ヤングケアラーの家事負担軽減等を推進**するため、ふるさとひょうご寄附金を活用し、**子ども食堂の開設支援や弁当の配食等を実施**

○子ども食堂開設支援

- ・ **対象経費** 調理器具（炊飯器、冷蔵庫等）、家具、食器など
- ・ **補助上限** 月2回以上実施：200千円、月1回実施：100千円

○ひょうごフードサポートネット・アウトリーチ推進支援

- ・ **補助対象** 配食を行う子ども食堂、子ども食堂へ食品供給を行うフードバンク
- ・ **対象経費** 初度経費（自転車、クーラーボックス等）、運営費（配送に係る燃料費等）

○ヤングケアラー世帯への配食

- ・ **内 容** 世帯全員の弁当を週1回配達（最長3ヶ月間）
※世帯の状況を定期的に確認し、必要に応じて福祉サービスを案内
- ・ **配食見込** 4,000個

○ひょうごフードサポートネットHPの構築・運営

- ・ **内 容** 食材の需要・供給情報を掲載し、食材マッチングを効率化
取組事例を紹介し、新たな参画者・寄附獲得を促進

【拡】 ■ひょうご不登校対策プロジェクト

221,543千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
3,818	0	0	217,725

- 校内サポートルーム（校内教育支援センター）における不登校児童生徒への学習、生活の支援等、**個に応じた支援**

○不登校児童生徒支援員（外部人材）の配置を支援

- ・ 配置数：中学校：各校に1人、小学校：市町ごとに4校に1人
- ・ 実施手法：市町への補助（1/2）

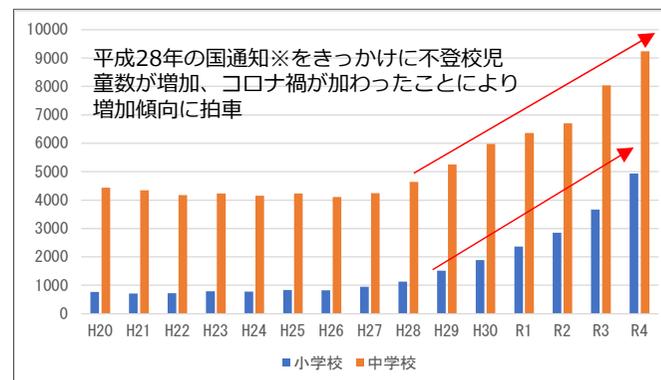
【県内市町組合のサポートルームの設置状況(R5.10月調査)】

サポートルームの設置			指導員等の配置 (市町負担)
全校	一部学校	合計	
小18市町組合 中35市町組合	小21市町組合 中7市町組合	小39市町組合 中42市町組合	26市町組合 [61.9%]
小171校 中152校	小216校 中87校	小387校(68.3%) 中239校(94.8%)	小94校(16.6%) 中113校(44.8%)

※ ()は全小学校567校、全中学校252校に対する割合

※ []は全42市町組合に対する割合
神戸市除く

【不登校児童生徒数の推移（県内小中学校）】



※不登校児童生徒への支援の在り方について（文科省通知）

(参考) 校内教育支援センターの設置促進（実施主体：地方公共団体）

国庫制度を活用し、**公立小・中学校における支援センターの設置を促進**

- ・ 対象経費：備品、消耗品費、謝金、旅費等（国庫1 / 3）

【拡】 ■ひきこもり対策総合支援事業

15,340千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
9,004	0	0	6,336

- ひきこもり状態にある方の増加に加え、女性割合の増加といった属性の変化など、支援のあり方が複雑化していることから、**ひきこもり支援連携検討会議を踏まえ、ひきこもり対策を強化**

○実施内容

区分	内容
■市町への支援	
ひきこもり総合支援センターの設置	相談支援員2名(心理士4日/週)、電話相談員1名を配置
市町ひきこもり支援合同研究会	市町職員を対象とした合同研究会(体制構築の事例発表等)
■支援団体への支援	
新 ひきこもり支援団体等運営力向上研修の実施	①支援団体の経営力向上研修 支援団体が持続的に運営できる仕組みを構築するため、 人材育成や財務管理等を研修 ②ひきこもり支援者スキルアップ研修 ひきこもり状態にある方を公的サービスにつなげるため、 福祉等制度の活用方法等を研修
新 ひきこもり支援団体等ネットワークの構築	全県的な 支援団体等ネットワークを立ち上げ、情報交換の仕組みを構築
■広域的な支援	
拡 オンライン居場所の設置	Web会議アプリ(Zoom等)を活用した オンライン居場所を設置 設置数：10箇所 ※うち女性専用1箇所、対面開催にも対応3箇所
ポータルサイトの運営	ひきこもり状態にある方やその家族に対して、居場所や支援等の情報を発信
オンラインによるひきこもりを抱える家族交流の場の設置	ひきこもり状態にある方の家族がオンラインで交流できる場の設置(県内5箇所)

【新】 ■学校との連携強化による地域の 相談支援機能の充実

20,833千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	20,833

- 不登校児童生徒の中学校卒業・高校中退等の後も、適切な支援へ円滑に接続するため、**学校と連携しながら支援を行うカウンセラーを県内5箇所に配置**
- 目的** 不登校児童生徒の卒業・退学後における支援への円滑な接続と支援継続
- 業務内容** 学校からの情報の収集、学校・要支援者との対面による関係構築、卒業・退学後の本人・家族への訪問相談
- 配置場所** 地域ブランチ（阪神、播磨、但馬、丹波、淡路）

【参考】兵庫ひきこもり相談支援センター

- (1) 概要 NPO等の地域の支援団体の協力を得ながら支援を展開
（支援内容：電話相談、アウトリーチ型支援、地域相談会等）
- (2) 運営 本部：兵庫県青少年本部（心理カウンセラー2名含む）
ブランチ：阪神、播磨、但馬、丹波、淡路のNPO法人等

【新】 ■ケアリーバーへの支援の充実

21,707千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
10,053	0	0	11,654

- 社会的養護経験者(ケアリーバー)の自立生活を支援するため、**ケアリーバーの専門相談窓口や働きやすい環境**を整備

○ケアリーバー応援企業拡大プロジェクト：658千円

ケアリーバーの応援企業を増やすため、企業向け研修会の開催や認定制度の創設、企業表彰などを実施

区分	社会的養護理解促進事業	ひょうごケアリーバー応援企業認定制度	応援企業表彰
実施内容	企業向け研修や入所児童との交流 を実施 ・認定希望企業への研修 ・施設見学会、意見交換会 ・入所児童が企業訪問して交流	働きやすい企業を認定 ・県審査会で審査・認定 ・施設向け紹介冊子の配布 ・企業向け情報誌の発行	模範となる企業を表彰 し、取組を広く周知するシンポジウムを開催 ・県審査会で審査・認定 ・シンポジウムの開催
所要額	192千円	188千円	278千円

○ケアリーバー雇用促進事業：1,600千円

就労の継続に課題を抱えるケアリーバーのため、応援企業に各企業で選定したワーク・エスコーター（寄り添い支援者）を配置し、生活面も含めた伴走型支援を実施

○ケアリーバー専門相談窓口の開設：19,449千円

社会的養護経験者（ケアリーバー）の卒後の状況が安定するまでの間、相談等の支援を実施（**現行2名体制に1名の就労相談支援員を追加**）

【拡】 ■ ヤングケアラー支援体制拡充事業

12,336千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
7,748	713	0	3,875

- 県のこれまでのヤングケアラー支援の好事例等を、より住民に身近な市町と共有し、全市町において相談体制や支援体制が確保されることを目指し、取組内容を拡充

○実施内容

区分	内容
①市町の後方支援	
新 市町支援マニュアル作成	・相談事例・関係機関連携等のマニュアルを作成
新 キャラバン研修	・各市町の支援体制の状況を踏まえた研修会を実施
②支援団体の活用・育成	
新 全県オンライン交流会	・ピアサポーター・SNS広告を活用し、全県的な交流会を開催
新 支援団体との情報交換会	・好事例等を共有し、団体の支援力を向上
③その他(直接支援等)	
相談窓口の設置	・ヤングケアラー等からの相談対応(県社会福祉士会に相談員2名を配置)
支援者向け研修	・福祉・介護・教育等関係者に対する基礎研修や多職種連携研修を実施
ピアサポート団体支援	・当事者支援等を行う団体が開催する交流事業に対して活動費を補助

【拡】 ■ 児童養護施設や里親の下で育つ 子ども応援プロジェクト

38,200千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
8,885	11,430	0	17,885

➤ 児童養護施設等で育った子どもたちが充実した学生生活を送るため、必要な経費の一部を支援

○実施内容

事業名	内容
学校生活充実支援事業	
新 小学生習い事代への支援	児童養護施設等の小学生の習い事(ピアノ等)に要する経費の一部に措置費を支弁 ○措置費単価 5千円/月
新 小学生学習塾代への支援	児童養護施設等の小学生の学習塾や通信講座に要する経費の一部を補助 ○補助単価 8千円/月
高校生クラブ活動費等支援	児童養護施設等の高校生のクラブ活動の用具購入費等の一部を補助 ○補助単価 5千円/月
進学支援事業	
夢ふれあい交流事業	児童養護施設等の子どもたちと大学生と自然体験等を行うプログラムを実施 ○実施回数 2回(夏・秋を想定)
夢かたりあい交流事業	児童養護施設に大学生を派遣し、大学生活などを語り合う機会を提供 ○補助単価 50千円/回
新 再チャレンジ進学応援事業	児童養護施設等の高校既卒者に対して予備校代の一部を補助 ○補助単価 25千円/月
就学等準備支援事業	児童養護施設等の高校生に大学等進学に必要な経費(受験料、宿泊料等)の一部を補助 ○補助単価 200千円
児童養護施設等進学支援事業	大学進学する児童養護施設等の児童に対してオンライン授業等に対応するための経費を支援
高校生及び施設等退所児童の就業等支援事業	
施設等退所児童対象セミナー開催	施設等退所児童を対象に施設等退所後に必要な諸手続、金銭管理等、就職について必要な知識について必要なセミナーを開催
就職活動等経費支援	施設等の高校生や退所児童が就職支援に関わるセミナー等に参加した場合の交通費等を補助 ○補助単価 40千円/回(入所児童)、20千円(退所児童)

3. 「住みやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

040

【新】 ■ 県営住宅における子育て世帯への支援（県住特会）

270,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
120,000	30,000	120,000	0

- 子育てしやすい県営住宅を供給し、高齢化が進む県営住宅における **多様な世代構成によるコミュニティを活性化するため、ニーズの高い阪神間を中心に**、駅や学校等に近接した住宅において、子育てしやすい住宅への改修の実施及び集会所等の整備を支援

1 県営住宅子育て支援グレードアップ改修事業：240,000千円

結婚・子育てをする若者・Z世代の住宅確保を支援するため、子育てしやすい県営住宅の改修を実施

- **実施内容** LDK拡張、和室の洋室化、ユニットバス化 等
- **実施期間** R6～R8年度（120戸／年）



LDK拡張イメージ

2 県営住宅子育て世帯交流創出事業：30,000千円

集会所等の共用部において交流を生み出すキッズスペース等を整備する費用を支援

- **対象経費** 床・壁マット、書棚、屋内遊具、トイレ洋式化 等
- **実施期間** R6～R8年度（60件／年）
- **補助対象** 団地自治会
- **補助上限** 500千円

【新】 ■ 県営青木団地PFI建替事業 (県住特会)

6,016千円

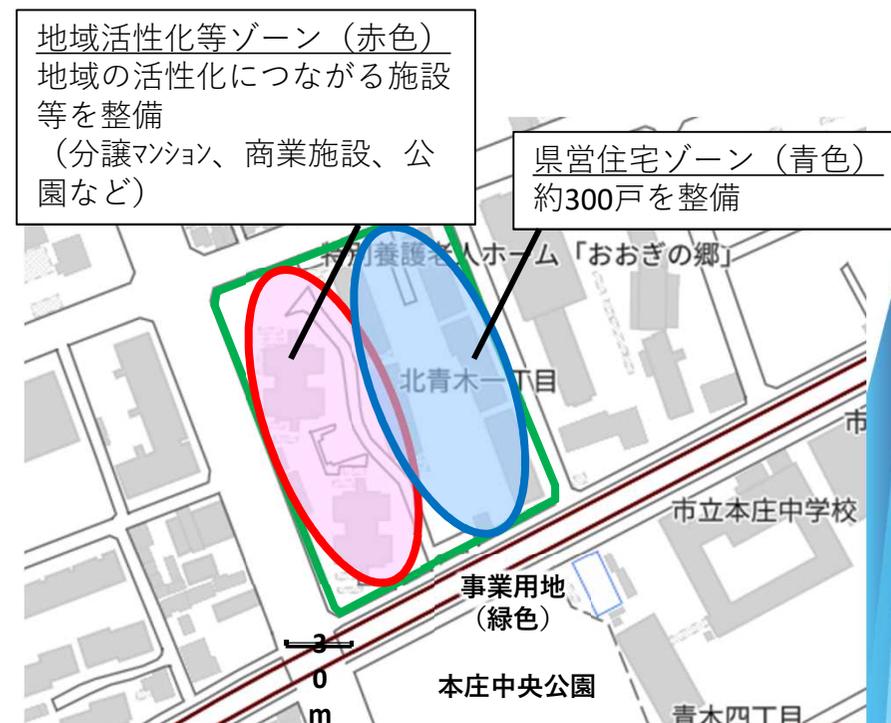
財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,926	190	2,900	0

➤ 「ひょうご県営住宅整備・管理計画」に基づき、良質な県営住宅ストックの形成を図るため、県営住宅整備事業を推進するにあたり、**PFI手法による建替事業を採用し、民間事業者のノウハウやアイデアを活用した住戸を整備**

- 事業用地 県営青木高層・鉄筋住宅（神戸市東灘区）
- 管理戸数 314戸（入居数：291世帯※R5.11月末時点）
- 所要経費 移転支援業務費等
- 整備スケジュール

区分	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
事業者の 公募・選定	➡						
設計、 行政手続等		➡					
既存住棟等の 解体・建設			➡				
活用地の 整備・活用						➡	



(出典) 国土地理院ウェブサイト「地理院地図」を加工して作成

【新】 ■ 子育て住宅総合支援事業

114,400千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
51,480	0	0	62,920

- **阪神間において子育て住宅促進区域を指定**し、区域内に県・市町が施策を集中実施すること等により民間事業者等の投資意欲を刺激し、**子育て世帯の転入・定住を促進**

区分	新築・中古住宅取得補助	戸建住宅賃貸化改修補助	子育て支援施設開設補助	民間賃貸住宅住替補助
実施内容	住宅取得に要する費用を支援	戸建住宅を賃貸化する場合に必要な改修費等を支援	商業施設等の空き区画に子育て支援施設を開設する際に要する経費（内装工事費、賃借料等）を支援	新婚・子育て世帯の県外からの転入に要する経費を支援
対象地域	子育て住宅促進区域内			阪神間地域
対象者	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯(18歳未満の子どもがいる世帯) 新婚世帯(合計年齢が80歳以下の夫婦のみ世帯) 	<ul style="list-style-type: none"> 戸建住宅所有者 戸建住宅を借り上げ、子育て世帯等に転貸しようとする者 	子育て支援施設開業希望者	<ul style="list-style-type: none"> 子育て世帯(18歳未満の子どもがいる世帯) 新婚世帯(合計年齢が80歳以下の夫婦のみ世帯)
補助内容	[補助限度額] 新築：2,000千円 中古：600千円 [補助率]定額 [負担割合] 県1/2、市町1/2	[補助限度額]600千円 [補助率]1/2 [負担割合] 県1/4、市町1/4、所有者等1/2	[補助限度額] 1年目:3,000千円 2年目以降:1,000千円 [補助率]2/3 [負担割合] 県1/3、市町1/3、事業者1/3	[補助限度額]250千円 [補助率]定額 [負担割合] 県1/2、市町(県住宅供給公社)1/2
予算額	56,000千円	2,400千円	6,000千円	50,000千円

4. 「働きやすい兵庫」の実現

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【拡】 ■ 高校生の県内就職促進事業

7,793千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	7,793	0	0

- 就職を希望する高校生に加え、**教員向けの取組を実施**することで、地元企業と学校が連携した**高校生のキャリア形成支援と若手人材の確保・定着を推進**

区分	内容
高校進路指導担当教員向けセミナー	①地域の主要な企業や地場産業の紹介 ②法令や高校生の就活事情の説明 ③奨学金返済支援制度や大学の就活事情の説明 等
高校生向けキャリア支援セミナー	①ビジネスマナー、社会常識等の説明 ②地元企業紹介や先輩社員との意見交換会 ③就活ルール、就職後のリスクヘッジ 等

【拡】 ■理工系人材獲得促進事業

7,945千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	7,945	0	0

➤ 県内外の理工系大学及び学生と県内中小製造業とのマッチング機会を創出し、理工系人材の獲得に向けた支援を展開

○製造・研究現場見学会

- ・ **実施内容** 地域を代表する企業の製造・研究・開発現場や産業見本市等を視察
- ・ **対 象** 大学等の理工系学生（主に大学1、2年生など就職活動前の学生）

○理工系学生との合同交流会

- ・ **実施内容** 理工系学生が企業を知り、先輩社員等と交流する場を提供
- ・ **対 象** 大学等の理工系学生（主に大学1、2年生など就職活動前の学生）

○大学との就職情報交換会

- ・ **実施内容** オンラインで大学と企業を繋ぎ、互いが求める情報を交換
- ・ **対 象** 就職支援協定締結大学をはじめとした理工系学部を有する大学

【新】 ■ 外国人材就職・定着支援事業

13,195千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	13,195	0	0

- 外国人材の県内企業への就職と定着を促進するため、**外国人雇用に関する企業認証制度を検討**し、認証企業による**採用・定着に向けた取り組みを支援**

項目	内容
外国人雇用に関する企業認証制度の創設検討	企業認証制度の委員会を開催し、制度概要等を決定（R7年度運用開始）
外国人採用ジョブフェア・プレイベントの実施	大阪市内での「ひょうごの企業魅力発信フェア」においてWEBでベトナム大学生と交流会実施 ・対象者：ベトナムの理工系学生 ・参加企業：30社程度
外国人材定着支援制度の創設検討	県内企業の現状や支援ニーズを把握するため、アンケート調査を実施 ・対象：外国人材を雇用する県内企業 ・調査数：400社程度

【拡】 ■外国人留学生に対する県内企業 魅力発信事業

8,665千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
4,332	4,333	0	0

➤ 外国人留学生を対象とした県内企業とのマッチング機会を提供することにより、県内企業における人材の確保を支援

○合同企業説明会の開催

県内企業による説明会を開催し外国人留学生とのマッチングの場を提供

令和6年度は新たに理工系企業ブースを設け、理工系留学生の県内就職を促進

- ・ **対象者** 外国人留学生等
- ・ **開催場所** 神戸市内
- ・ **参加企業** ひょうご応援企業等を中心とした県内企業70社程度

○ひょうごの企業魅力発信フェアの開催

県内企業の魅力を外国人留学生に伝え、将来的なマッチングにつなげる

- ・ **対象者** 外国人留学生等
- ・ **開催場所** 大阪市内
- ・ **参加企業** ひょうご応援企業等を中心とした県内企業30社

【新】 ■ デジタル技術を活用した雇用導入促進事業

15,913千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	15,913	0	0

- ▶ 家庭の事情等による短時間勤務を求める女性や退職後の高齢者など、**デジタル技術を活用して多様な労働力を発掘から就職**へとつなぎ、県内中小企業の人材確保を支援

○ マッチングシステムの構築

県が構築した求人サイトに地元企業が求人情報を掲載し、マッチングを実施

- ・ **想定地域**：淡路地域でのモデル実施を想定
- ・ **運用期間**：R6.6～R7.3（10ヶ月間）

○ 兼業・副業・ギグワーク人材活用セミナーの開催

兼業・副業・スキマ時間の人材活用についての事例紹介、セミナー後の個別相談支援を実施

- ・ **開催場所**：淡路地域2回、神戸市1回を想定

【拡】 ■ 観光地域づくり人材育成事業

21,941千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	21,941	0	0

- コロナ禍後の観光需要の回復を見据え、**人手不足が深刻化する観光産業（旅館・宿泊業）の人材確保**を支援

区分	内容
1 観光実務人材確保・育成事業	
ひょうごの観光人材イメージアップ大作戦	SNSでの発信等
他府県等合同企業説明会参加・就職支援セミナー	合同就職説明会への出展、事業者向けのセミナー等を実施
学生向け視察・体験事業	視察バスツアーやインターンシップを開催
【新】調理師向け体験・視察事業	調理師専門学生に対し、旅館の調理場体験や料理長との意見交換会を開催し、やりがいや魅力を発信〔対象：県内調理専門学校 학생等〕
2 中核観光人材育成事業	
観光プロジェクトへの参画・専門講師によるオンラインセミナー	観光プロジェクトへの参画や人材育成セミナーを開催
3 芸術文化観光専門職大学との連携事業	
観光事業者・観光業界を目指す若者の育成	芸術文化観光専門職大学と連携し、若者向けのセミナー等を実施
4 旅館・宿泊事業者の取組支援	
【新】先進事例紹介	DX化やスキマ時間を活用した労働力確保の先進事例について説明会を開催
【新】人材確保等支援	人材確保の地域の主体的な取り組みを支援〔補助対象：観光協会・組合等、対象経費：就職説明会への参加費等、補助上限：500千円、補助率：1/2〕

【新】 ■ 地域公共交通事業者人材確保支援事業

29,000千円
(超過課税)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	29,000	0	0

- 公共交通ネットワークを維持するため、人材確保に取り組む**路線バス・タクシー事業者の第2種免許取得費用及び受験資格特例教習受講費用の一部を支援**

- 対 象** 県内の路線バス・タクシー事業者
- 対象経費** 大型・2種免許取得費用、受験資格特例教習受講費用
- 負担割合** 国：県：事業者＝2：1：1（補助率1/4）
- 補助上限** バス：150千円/人、タクシー：100千円/人

【拡】 ■ 若者起業人材育成事業

18,126千円

デジタル田園都市
構想交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
9,063	9,063	0	0

- ▶ 起業家精神を醸成するため、**県内中学・高校・大学において、起業家精神養成プログラムや起業人材育成講座等を実施**し、将来の起業人材を育成

区分	実施内容
中学・高校生向け	○ 県内中高への起業家精神養成プログラム導入 起業家精神養成プログラムを実施し、起業を考える若者を育成 ・導入校数：中学・高校等10校程度
	○ 日本政策金融公庫と連携したワークショップ 公庫と連携した実践的なプログラムを実施し、学校の授業以外での起業家教育を推進 ・開催回数：1回（高校生の夏休み期間中） ・参加者数：50人程度
	○ スタートアップチャレンジ甲子園の開催 大阪府と共催で両府県の代表が新ビジネスのアイデアを発表するプレゼンテーション審査会を開催（R6.11月予定）
大学生向け	○ 県内大学と連携した起業人材育成事業 県内大学と連携し、起業家育成講座の実施を支援 ・実施大学：県内大学2校程度 ・補助額：4,000千円/大学（うち2,000千円はふるさとひょうご寄附金を活用）

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【拡】 ■ 起業家支援事業（若者枠）の創設

33,000千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
16,500	16,500	0	0

- 若者に選ばれる働きやすい兵庫を目指すため、**起業家支援事業に若者枠を新設**し、県内で新たなビジネス創出の取組と成長を支援

○実施内容

県内で**起業・第二創業を目指す30歳以下の若者**のうち、審査委員会において有望なビジネスプランであると選定された者に対し、事業の立ち上げ等に必要な経費の一部を補助

区分	一般枠	ふるさと枠	社会的 事業枠	東京23区枠	就職氷河期 世代枠	(新)若者枠
対象者	有望なビジネスプランを有し、県内で起業する者					
	—	県外から県内に移住・起業する者	地域課題の解決に資する事業を新たに起業する者	東京23区等から県内に移住・起業する者	就職氷河期世代	概ね30歳以下の若者(学生・留学生含)
R6実施予定件数	60件	20件	25件	5件	20件	30件
対象経費 ※補助率 1 / 2	起業に要する経費	1,000千円以内				
	空き家改修費用	1,000千円以内				
	移転経費	—	1,000千円以内	—	—	—

I 若者・Z世代が輝く兵庫

【新】 ■ひょうごSDGsワーケーション・スタート推進事業

3,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,000

- 若者のSDGsや働き方への意識の高まり、企業の社会貢献活動へのニーズを踏まえ、ひょうごFPのSDGs体験型地域プログラム等の要素を取り入れた、「**ひょうごSDGsワーケーション・プログラム**」を市町や民間企業・団体等との連携を踏まえ造成

○実施内容

- ・プログラム※の実施が可能な地域（3地域程度を想定）の調査及び情報収集

※各地域の生業や地域資源等の、SDGsの取組を体感できるワーケーションを内容とした2泊3日程度のプログラムを想定

- ・プログラム造成後の利活用促進に向けた企業等に対するセミナーの実施
- ・プログラムの造成（3種類程度を想定）及び事業者へのテストマーケティング

○事業の狙い

- ・ワーケーション推進による「多様な働き方ができる兵庫」の県内外へのPR
- ・SDGsに資する取組のPRによる企業価値の向上(若者の支持獲得による採用力の向上)

【参考】プログラムについて

■プログラム	●プログラム活用によるメリット
ひょうごFPの中から、企業とのマッチングが見込まれる内容を選定 (例) ・コウトリ育む農法による環境創造型農業を体験(豊岡市) ・里山の暮らしを通じた自然との共存や地域の生業の体験(丹波篠山市) ・森林ウォーキングやE-BIKEの乗車体験(宍粟市・多可町)等	企業 <ul style="list-style-type: none"> ・CSR、SDGsの取組PRによる企業価値、採用力の向上 ・従業員の人材育成、福利厚生・エンゲージメントの向上 ・イノベーションの創出機会向上
	従業員 <ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごFPに触れることによる、SDGs等への「気づき」のきっかけ ・柔軟な働き方の実現、リフレッシュ、モチベーション向上 ・課題解決スキル、コミュニケーション能力等の向上
	地域 <ul style="list-style-type: none"> ・関係人口の創出(平日の観光需要の促進) ・地域課題解決へのきっかけ ・企業との継続的な関係性の構築

【拡】 ■ひょうごミモザ企業認定の推進

7,916千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	7,916

- 県内企業のさらなる女性活躍推進に向け、ひょうご・こうべ女性活躍推進企業（ミモザ企業）認定制度の普及促進を図るため、**より取組みやすい新たな認定区分を創設**するとともに、ミモザ企業への就職を促進するため、**女子学生とのマッチングの機会を提供**

○フレッシュミモザ企業認定の導入

女性活躍推進に意欲のある企業を発掘し、「ミモザ企業」を増やすため、**「フレッシュミモザ企業」を新設**

認証区分	認証基準
 <p>ひょうご・こうべ 女性活躍推進認定 プラチナミモザ企業</p>	<p>【プラチナミモザ企業】 全20項目／全20項目＋先導的な取組を実施</p>
 <p>ひょうご・こうべ 女性活躍推進認定 ミモザ企業</p>	<p>【ミモザ企業】 14項目(7割)以上／全20項目</p>
<p>【新設】 フレッシュ ミモザ企業</p>	<p>【フレッシュミモザ企業】 8項目(4割)以上／全20項目</p>

○女子学生とミモザ企業のマッチング促進

【第1段階：ミモザ企業を知る！】

- ①ミモザ企業の女性社員による**大学への出前講座**
- ②女子学生による**ミモザ企業の見学**
(女性の働きやすい職場環境見学・取材)

【第2段階：ミモザ企業と協賛する！】

ミモザ企業女性社員との意見交換
(ミモザ企業の事例発表、**女子学生とミモザ企業の交流会**)

【第3段階：ミモザ企業をブランディングする！】

女子学生の企画による**SNS等での魅力発信**

【第4段階：女子学生とミモザ企業をマッチングする！】

ミモザ企業と連携した「**キラキラミモザ就職フェア**」の開催

1. 2025大阪・関西万博に向けた取組の加速

【拡】 ■ひょうごフィールドパビリオン プロモーション事業

135,821千円

〔デジタル田園都市
構想交付金等〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
66,739	69,082	0	0

➤ ひょうごフィールドパビリオンを国内外に積極的にプロモーションし、認知度の向上と万博を契機とした誘客を促進

○海外プロモーション：32,862千円

知事の豪州訪問にあわせたトップセールス、海外事務所による旅行博等出展、旅行会社やメディア向けのファムトリップ等を実施

○国内プロモーション：62,099千円

本県からの航空機就航先、関西の空港内の案内所でのPR等を実施、ツリズムEXPOジャパンなど国内旅行博への出展、万博開幕までの節目(半年前など)におけるイベント開催等を実施

○専用サイトやSNSによるプロモーション：38,518千円

令和5年度に構築した専用サイトの運用やSNSキャンペーン、インフルエンサーによる発信、広告用動画作成や案内冊子の作成・発信等を実施

○万博会場でのフィールドパビリオンPRイベントの検討：2,342千円

万博期間中、万博会場にフィールドパビリオンプレーヤーが一堂に会し、ブース出展・ステージイベント等により兵庫県内各地の魅力やSDGsを体現する取組を発信するイベントを検討

II 活躍の場が広がる兵庫

【拡】 ■ひょうごフィールドパビリオン
プログラム磨き上げ事業

30,795千円

〔デジタル田園都市
構想交付金等〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
8,397	22,398	0	0

- 認定したプログラムが**国内外からの誘客が可能な魅力的なプログラム**になるよう、モニター事業や研修の実施、商品化支援などの磨き上げを行い、受け入れ体制の向上に取り組むとともに、プレイヤー自身によるセルフチェック行い、**自立自走ができるPDCAサイクルを実現**

○フィールドパビリオン県民モニター事業：14,000千円

プログラムの魅力向上に向け、アンケート協力を行う県民モニターのフィールドパビリオンへの訪問を支援

<事業概要>

対象団体：県内の地域団体・グループ(10名以上)

対象経費：フィールドパビリオン体験料、バス借上料 等

補助率：定額(上限4万円)

補助件数：200件

アンケート結果をフィールドパビリオンプレイヤーへフィードバックすることで更なる磨き上げを図る

○磨き上げ研修：10,082千円

インバウンド対応や効果的な情報発信等に関する座学研修、各プレイヤーの相互訪問によりネットワーク化を促進する実地研修、タビマエのプロモーション素材としてメタバースを自主製作する講習会を開催

<磨き上げのPDCAサイクル>



○商品化支援：6,713千円

ツアー造成に向け、プレイヤーと旅行会社のマッチングやエクスカージョン等を実施し、プレイヤーによる旅行商品化を支援

【拡】 ■ 兵庫県ゾーン・兵庫県立美術館ギャラリー棟の展示企画・運営・誘客促進 690,416千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	690,416	0	0

- 万博会場の**関西パビリオン「兵庫県ゾーン」**や**兵庫県立美術館ギャラリー棟**において、ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、歴史・文化・観光資源などの多彩な魅力を展示を通じて発信し、兵庫への誘客を促進

○実施内容

- ・映像・情報コンテンツ、展示造形・模型の制作および両展示会場への展示物設置
- ・両展示会場の運営計画策定、スタッフ研修実施
- ・ポスターやグッズ等のPRツール制作、公共交通機関やSNS等による幅広い周知、県内イベント出展によるPR等を実施
- ・兵庫県ゾーンに展示するコウノトリ折り紙制作イベント、県立美術館に展示する絵画募集など、展示制作に県民が参加する機会の創出

■展示イメージ



関西パビリオン「兵庫県ゾーン」



兵庫県立美術館

【新】 ■兵庫県版テーマウィーク プロモーション

3,770千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	3,770	0	0

- 万博期間中、国際博覧会協会が実施する「テーマウィーク」に連動し、県が独自に設定するテーマに即したイベント等を複層的に展開する「兵庫県版テーマウィーク」の実施に向け、**イベントへの出展や説明会の実施**等による**事業認知度の向上**、市町や企業・各種団体等の参画を促進するなど事業実施に向けた準備・調整を実施

○兵庫県版テーマウィーク事業の概要

	兵庫県版テーマウィーク	国際博覧会協会テーマウィーク								
テーマ	【兵庫県版10テーマ】 協会8テーマに加え、 兵庫県独自2テーマを追加	【協会8テーマ】 SDGs達成への貢献とBeyond SDGsを見据えた地球的課題								
	<table border="1"> <tr> <td>未来への文化共創</td> <td>未来のコミュニティとモビリティ</td> <td>学びと遊び</td> <td>地球の未来と生物多様性</td> </tr> <tr> <td>食と暮らしの未来</td> <td>健康とウェルビーイング</td> <td>平和と人権</td> <td>SDGs+Beyond</td> </tr> </table>	未来への文化共創	未来のコミュニティとモビリティ	学びと遊び	地球の未来と生物多様性	食と暮らしの未来	健康とウェルビーイング	平和と人権	SDGs+Beyond	
	未来への文化共創	未来のコミュニティとモビリティ	学びと遊び	地球の未来と生物多様性						
食と暮らしの未来	健康とウェルビーイング	平和と人権	SDGs+Beyond							
<table border="1"> <tr> <td>災害からの創造的復興</td> <td>ひょうごの成長産業と地場産業</td> </tr> </table>	災害からの 創造的復興	ひょうごの 成長産業と地場産業								
災害からの 創造的復興	ひょうごの 成長産業と地場産業									
実施主体	県、市町、各種団体、フィールドパビリオンプレイヤー等	公式参加者、政府・自治体、博覧会協会、公的団体、教育・研究機関、NGO、NPO、企業等								
実施場所	兵庫県立美術館、県内各地 、万博会場	万博会場内 各パビリオン、催事場 万博会場外(全国規模の国際的なイベント を「テーマウィークコネクト」として実施)								
事業例	県・市町域規模 で開催する事業(国際規模のイベント含む)等	政府実施事業、全国規模で開催する事業、国外からの参加見込みのある事業 等								

【新】 ■ひょうご万博楽市・楽座の実施

147,000千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	147,000	0	0

- 尼崎フェニックス事業用地の万博会場外駐車場隣接地を、パークアンドライドの乗り換えだけに終わらせず、万博開催期間に合わせて**兵庫五国の魅力を発信する催しを開催**

○R6年度実施内容

- ・ 整地・上下水道・電気等のインフラ整備
- ・ イベントの企画・準備

【参考】 R7年度実施内容（イベント）

- ・ **実施場所** 尼崎フェニックス事業用地会場外駐車場隣接地
- ・ **対象者** 会場外駐車場利用者など
- ・ **実施内容（イメージ）**

県内各地のグルメの提供、特産品の販売、フィールドパビリオンのプログラム体験 など

※ 実施内容は現在実施中のサウンディング調査の結果も踏まえ検討

※ 空飛ぶクルマデモフライトとも連動



地図出展：国土地理院

○スケジュール

項目	R5	R6	R7
内容検討・計画決定	地域等の意見聴取、計画検討	計画決定	
イベント開催		出展・出演者調整	開催
インフラ整備		インフラ整備	

【新】 ■ 子どもの夢プロジェクト

16,112千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	16,112	0	0

- 単に万博を見るだけでなく、**子どもたちが万博へ主体的に関わり、共創していく体験**をすることで、シビックプライド醸成と将来の自分や未来社会について考えるきっかけを創出

区分	ひょうごキッズEXPO事業	ひょうごの魅力をお届けるお仕事体験事業
対象者	県内の小学生	県内の小・中学生
実施内容	R6 <ul style="list-style-type: none"> ・子供が集まる施設（子ども食堂・児童館等）と連携し、子供の夢や興味を育み、主体性を引き出すための授業を実施 ・参加者の中からR7に開催するイベントに参画する子供を募集し、出展に向けた準備を実施 	<ul style="list-style-type: none"> ・ひょうごフィールドパビリオンをはじめ、各地域の活動現場においてフィールドワークを実施（仕事として体験することで、活動の魅力や携わる人や地域の思いを調査） ・体験を通して学んだ内容を発信するためのパネルを制作 
	【参考】 R7	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢を実現させる場、夢を見つけるきっかけとなる場として、職業体験・スピーチコンテスト・子供自身が発案したブースの出展等を含むイベントを県内5拠点で実施
予算額	7,984千円	8,128千円

※子どもの夢プロジェクトとして実施するその他の事業（絵画作品・コウノトリ折り紙・ショート動画等）は、展示設計・制作業務の中で実施

【新】 ■ひょうごフィールドパビリオンを活用した体験学習魅力発信事業

1,301千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	1,301	0	0

- 兵庫の子どもたちのさらなるふるさと意識の醸成を図るため、**校外学習や体験活動に、ひょうごフィールドパビリオンを活用するモデルコースを作成**し、各校での活用を促進

○魅力発信検討会議の実施：599千円

体験教育の現状について幅広く協議を行ったうえで、次年度に向けてひょうごフィールドパビリオンを活用したモデルコースの発信等を実施

○モデルコース検討会議：702千円

現行の体験学習のコースに組み込めるひょうごフィールドパビリオンを調査し、モデルコースを作成

【新】 ■ 健口から始めるウェルビーイング 向上イベント

3,891千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	3,891	0	0

- 「安心して長生きできる社会」の実現に向けて、万博テーマウィークの「健康とウェルビーイング」において、関連団体、関連企業、行政等が協働し、**歯と口の健康について広くPRできる人材を活用**し、また子どもから大人まで**誰もが参加できる啓発イベント**を実施

○ 県民の歯と口の意識醸成イベントの開催

時 期 令和6年11月頃の土日祝（※11月：歯及び口腔の健康づくり啓発月間）

会 場 兵庫県公館

内 容 ①「健口アンバサダー」石田みなみ×兵庫県ゆかりの著名人による健口トークショー

※石田みなみ：R4.4兵庫県歯科医師会任命「健口アンバサダー」

②歯科学識者による歯と口の健康に関する記念講演

（出席者）石田みなみ、タレント、歯科学識者、県歯科医師会長、
県歯科衛生士会長、県歯科技工士会長、県関係者

○ 「万博（健康とウェルビーイング）」に関する広報

方 法 ポスター広告、ランディングページ、Web広告、新聞広告、電車内広告

内 容 ①イベントの広報

②万博「健康とウェルビーイングの広報」

【拡】 ■ 障害児等職業体験事業

5,200千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,600	2,600	0	0

- 2025大阪関西万博のテーマである「いのち輝く未来社会のデザイン」を実現するため、大阪・関西万博「TEAM EXPO 2025」プログラムの共創パートナーとして参画している「キッザニア甲子園」での職業体験を通じて、未来の夢を育む機会を提供

- 対象 知的・身体・精神障害児等（対象を知的障害のみから全障害種別に拡大）
- 参加人数 400名（対象拡充に伴い増）
- 内容 「キッザニア甲子園」を借上し、職業体験の機会を提供
- 回数 1回（半日）
- 実施手法 委託（(公財)兵庫県手をつなぐ育成会）

【新】 ■大阪・関西万博開催に向けた交通対策

4,995千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	4,995	0	0

- 大阪・関西万博開催に伴い、主要道路における交通量の増加が見込まれることから、**渋滞予測地点（五合橋交差点）に簡易IPカメラを設置し、変化する交通流に対して最適な信号制御を行うことで、渋滞の緩和を図る**

○実施内容

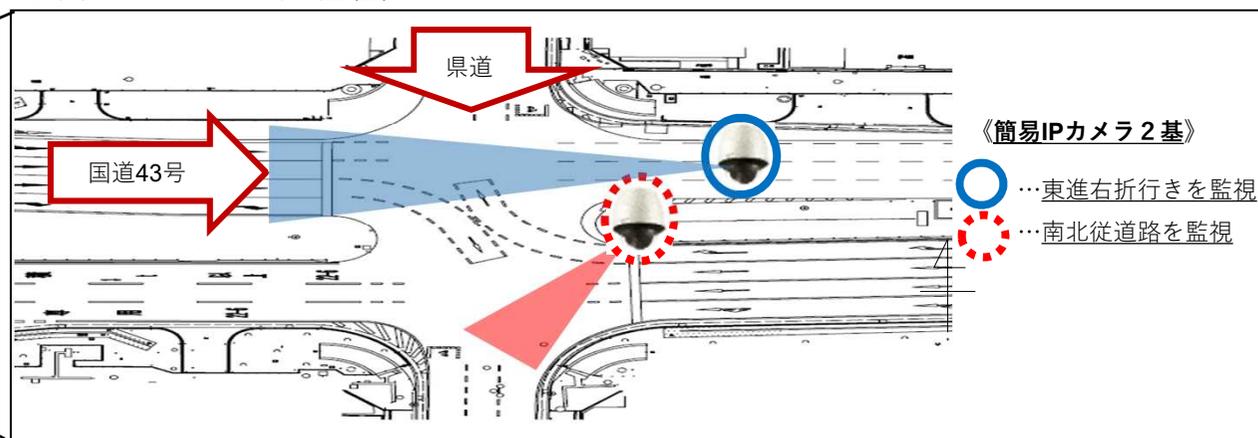
簡易IPカメラ設置工事（2基）

- ①国道43号（東進右折監視用） ②県道五合橋線（南北従道路監視用）

○交通アクセス図



○簡易IPカメラ設置図



2. 万博を見据えた観光施策の取組

【新】 ■ひょうごユニバーサルツーリズム 推進エリア形成促進事業

32,000千円

地方創生
臨時交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
32,000	0	0	0

- 高齢者・障害者等による**回遊性を高める「面」での取組を促進**するため、地域を挙げてユニバーサルツーリズムに積極的に取り組む観光地を「**ひょうごユニバーサルツーリズム推進エリア**」として**指定**し、地域ぐるみの取組をモデル的に支援

○補助対象

以下の要件を満たす協議会

- ①地域が一体となってユニバーサルツーリズムの推進に取り組む協議会（市町(必須)、観光協会、観光施設、宿泊施設、アクティビティ関連事業者、交通事業者、NPO等で構成）
- ②ユニバーサルツーリズム推進エリアの形成に向けたエリア計画を策定
- ③SNS等を活用した取組状況・取組結果等の発信

○**対象施設** 観光施設、観光案内所など観光客が利用する観光関連施設等

○**対象経費** アドバイザー派遣、車椅子等の物品購入、エレベーターやトイレ等のバリアフリー改修等

○**対象数** 2地区程度

○**支援期間** 最大2年間（R6着手事業を対象）

○**負担割合** 県1/2・協議会1/2

○**補助上限** 16,000千円／年

【拡】 ■兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化推進事業

14,036千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
7,018	0	0	7,018

- ▶ 万博の開催を見据え、令和4年度に策定した「兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針」に基づく**プロジェクトを推進**

○兵庫県域の大阪湾ベイエリア活性化基本方針の推進

基本方針に基づくプロジェクトについて、万博前後の時間軸を意識し、地元自治体等と連携のうえ、公民連携により実施

地域	コンセプト	プロジェクト
神戸	新たなチャレンジとイノベーションの創出	・新アリーナの活用 ・都心近接水域の活用 ほか
阪神	次世代へ繋ぐ新ライフスタイルの創出	・マリンスポーツによる賑わい創出 ・万博契機の魅力発信 ほか
淡路	国内外からの人の流れと交流の創出	・ラグジュアリーホテルの誘致 ・クルーズ船の誘致 ほか

○クルージングMICE奨励助成モデル事業

船内での会議やイベント等を実施する船会社等に対する助成事業を拡充

【R6拡充内容】 兵庫県ベイエリア⇄万博会場・瀬戸内エリア等の広域航路の場合等について補助上限額を引上げ（補助率：1/3）

区分	通常	広域航路の場合	旅行商品を造成する場合	合計
要件	船内での会議やイベント等の実施	兵庫県と他府県間を結ぶ航路での実施	上陸後のコンテンツを含む旅行商品造成の実施	1,000千円 (R5:700千円)
上限額	500千円 (R5:700千円)	+250千円	+250千円	

【新】 ■他府県連携によるインバウンド 誘客促進

6,500千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	6,500

- 大阪・関西万博や瀬戸内国際芸術祭の開催による訪日外国人旅行者の増加を好機と捉え、**大阪府・香川県・神戸市と連携し、広域周遊ルート開発やツアー造成**等により、本県への誘客を促進

○連携内容

①広域周遊ルートの開発・プロモーション

- ・瀬戸内国際芸術祭の開催地である香川県と本県を周遊する広域周遊ツアーの造成、ファムトリップの実施
- ・万博来場者をターゲットとし造成したツアーを販売するため、旅行会社の招聘等を実施

②大型クルーズ船客の県内周遊促進

神戸港に寄港するクルーズ客船のコンテンツを充実させるため、旅行会社などに対して、モデルコースの提案等のセールスを実施

【新】 ■ 観光型MaaS等を用いた周遊観光の推進

9,900千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	9,900	0	0

➤ 大阪・関西万博を見据え、観光型MaaS等を活用し周遊観光の推進を強化

1 観光型MaaSでの観光スポット等の登録

大阪・関西万博を見据え、万博アプリとの連携により活用が期待されるKANSAI MaaSに観光施設やモデルコース等を登録し、観光情報の発信を強化

○KANSAI MaaSの概要

- ・ 国内初の鉄道事業者連携による広域型MaaS
- ・ 大阪・関西万博アプリとも機能連携し、シャトルバス等の予約などを予定

2 インフルエンサープロモーション

インフルエンサーによる兵庫五国のフィールドパビリオンなど観光スポットを巡る動画の作成及び自らのYouTube等で配信することで、観光情報の発信を強化

【拡】 ■ 国際交流事業等とあわせた海外プロモーションの実施 (一部、再掲) **23,048千円**
(デジタル田園都市構想交付金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
2,498	13,280	0	7,270

➤ 友好提携先である西オーストラリア州等において、2025大阪・関西万博に先がけ、ひょうごフィールドパビリオンの展開等に向けた知事によるトッププロモーションを実施

○時 期 令和6年夏頃 (予定)

○実施内容

・オーストラリアとの連携促進事業の実施

水素社会の実現に向けた水素関連企業等との意見交換・視察、学術・教育交流等を実施

・ひょうごフィールドパビリオントッププロモーションの実施

オーストラリア主要都市で、ひょうごフィールドパビリオンのトッププロモーションを実施

・県農水産物等トッププロモーションの実施

シェフやバイヤー、メディア等を対象として、ブランド戦略策定品目を使った料理を提供する**レストランフェアをマレーシアにおいて開催**

連携促進事業 (友好提携関係)

担当課：産業労働部国際局国際課交流企画班

連絡先：078-362-9017 (内線2101)

連携促進事業 (水素関係)

担当課：企画部総合政策課エネルギー・水資源班

連絡先：078-362-3294 (内線2243)

ひょうごFPに関する事

担当課：企画部万博推進課フィールドパビリオン班

連絡先：078-362-9010 (内線4789)

県農水産物トッププロモーションに関する事

担当課：農林水産部流通戦略課ブランド戦略班

連絡先：078-362-9213 (内線4044)

【新】 ■ インドとの経済交流推進事業

8,016千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	8,016

- インド政府や現地支援機関へ経済交流の深化に向けたトップセールスを行うとともに、**インド進出に関心のある県内企業を対象**とし、**サプライチェーン構築や販路拡大に向けた企業間マッチング**等を現地で実施

○時 期 令和6年秋頃（予定）

○実施内容

- ・ 進出県内企業等訪問
- ・ ひょうご経済セミナー開催
- ・ グジャラート州投資セミナー開催

【新】 ■ アニメツーリズム地域支援事業

1,000千円
〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
500	0	0	500

- 国内外共に拡大するアニメ産業の市場規模を念頭に、地域におけるアニメツーリズムの取組を支援し、アニメツーリズムによる持続可能な観光地域づくりを実現

○アニメツーリズムマニュアルの作成

アニメコンテンツは権利関係が複雑でアプローチの仕方が分からないといった理由によりアニメツーリズムの取組に対して消極的な地域もあることから、市町・団体等向けにマニュアルを作成

- ・ **内 容** アニメ業界の仕組み、IP（知的財産権）利用の流れ 等
- ・ **作成方法** アニメツーリズムマニュアル検討会を設置し、内容を検討

○アニメツーリズムセミナーの開催

アニメツーリズムに取り組む意欲のある市町、団体等を対象にセミナーを開催

- ・ **内 容** 事例紹介、パネルディスカッション、個別相談会

【新】 ■ 淡路夢舞台温室におけるシンガポール植物園と連携した取組

29,016千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	29,016	0	0

➤ 淡路夢舞台温室において、シンガポール植物園と連携した各種取組を実施

1 シンガポール植物園連携展示事業：19,274千円

淡路夢舞台温室リニューアルオープン（R7年）に合わせ、**シンガポール植物園と連携した展示を実施することで新たな魅力を提供**

○実施内容

ランのトップレベルのコレクションを有するシンガポール植物園提供のランを中心に、地植えや鉢植えによる展示等を実施

○**展示内容** シンガポール植物園提供のラン
シンガポールの展示手法を取り入れた展示



淡路夢舞台温室

2 シンガポールフェスティバル出展事業：9,742千円

大阪・関西万博に向けて、淡路夢舞台温室の知名度向上によるインバウンド増加を図るため、シンガポールガーデンフェスティバルに出展

○実施内容

シンガポール植物園※において開催予定の「シンガポールガーデンフェスティバル」において、日本原産のラン及びその栽培品種等を展示

○**展示期間** 令和6年8月3日～8月11日

※シンガポール植物園

- ・昭和55年から県立フラワーセンターと姉妹提携
- ・令和4年にあわじグリーン館と今後の連携に関する覚書を締結

【新】 ■ 淡路夢舞台温室リニューアル記念事業

4,117千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	4,117	0	0

- 2025大阪・関西万博や淡路花博25周年記念花みどりフェアの開催に合わせて、淡路夢舞台温室の魅力を県内外にPRし、更なる誘客促進を図るため、**記念式典等を実施**

○実施内容

区分	特別企画（プライベート）	記念式典
開催日	R7.3中旬	R7.3末
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 記念講演 ・ パネルディスカッション 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地元学生によるオープニング演奏、テープカット等 ・ 施設見学 ・ 記念講座
開催場所	淡路夢舞台国際会議場メインホール	淡路夢舞台温室内、芝生広場
参加者数	500名	500名

【新】 ■ 県立都市公園利便性向上事業

7,152千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	4,869	0	2,283

➤ 県立都市公園の利便性の向上を図るため、各種の取組を実施

1 Wi-Fi環境整備事業：4,869千円

利用者の利便性向上や SNS 投稿、外国人旅行者の利用促進を図るため、R5年度に多言語デジタルガイド(スマホアプリ、案内サイン)を導入した公園を対象に**無料 Wi-Fiを設置**

○設置想定場所：舞子公園（夢レンズ付近）

淡路島公園（水の遊び場）

尼崎の森中央緑地（アマラーゴ付近）

※特に訪日外国人の集客が期待できる3公園で実施

【参考】多言語デジタルガイド導入事業（R5実施）

大阪・関西万博を契機に、訪日外国人に兵庫県ならではの景勝や体験を提供するため、万博会場からの交通至便な県立公園に多言語デジタルガイド（スマホアプリ、現地案内サイン）を導入

2 県立都市公園ライブ映像配信事業：2,283千円

利用者の利便性向上や来園者増加を図るため、**利用者が駐車場等の混雑状況をリアルタイムで確認できる環境を構築**

○実施内容

ライブカメラを整備し、混雑状況のリアルタイム映像をYouTubeで配信

3.スポーツ・芸術文化の振興

■プロスポーツクラブと連携した地域活性化プロジェクト

60,000千円
(ふるさとひょうご寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	60,000	0	0

➤ **プロスポーツ等との連携強化施策として、ふるさとひょうご寄附金によるスポーツイベントなどを実施**

○実施内容(例)

・子どものプロスポーツ試合観戦招待

プロスポーツクラブが開催するホームゲームに子どもを無料で招待

・選手・スタッフによるスポーツ教室の開催

プロスポーツクラブの選手やスタッフを学校や地域に派遣し、子ども向け教室等を実施

・スポーツ関連イベントの開催

プロスポーツクラブが開催するホームゲームにて、ジュニアチーム等の前座試合の開催等



【新】 ■子ども・ユーススポーツ推進プロジェクト

5,000千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	5,000	0	0

➤ ふるさと納税活用によるスポーツ教室やイベント等の開催など、子どもたちがスポーツに触れる機会を提供

○**実施内容** 子どもを対象としたスポーツ教室・イベント等

○**対 象** 県内の小中学生・保護者等

【参考】現地決済型システムの導入について

兵庫県は日本ゴルフ発祥の地といわれ、また全国的に有数のゴルフ環境にあることを活かし、ゴルフ場に**ふるさと納税の現地決済型システム導入**

寄附者は現地で寄附し、寄附に対する返礼品としてポイント等を受け取り、その場でゴルフ場利用料金に充当することが可能

【新】 ■ユニバーサルなスポーツ施設 調査・検討事業

1,042千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,042

- 「ユニバーサルなスポーツ施設のあり方」を議論するため、基礎データとなる体育館、プール、グラウンドを有する**既存のスポーツ施設（約350施設）の現状調査（アンケート、現地視察）**及び調査結果を踏まえた**検討会**を実施

○アンケート調査

- ・ユニバーサル対応の状況（障害者専用駐車場や、障害者減免の有無など）
- ・障害者利用の状況 等

○現地視察

アンケート結果から、以下の施設を選定し、委員同伴で訪問・調査

- ・障害者利用が多く改修に前向き
- ・ユニバーサル対応の先進的な取組を実施

○検討会の開催

調査結果等を踏まえ、ユニバーサルなスポーツ施設のあり方を検討

- ・開催回数 3回

【新】 ■神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会負担金

100,000千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	100,000

➤ 東京2020パラリンピック競技大会で醸成された機運やレガシーを絶やさず、パラスポーツの振興を図るため、**神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会を支援**

○人的支援

- ・派遣人数 3名
- ・派遣時期 令和3～6年度

○財政支援

- ・負担額 1億円

【大会概要】

- 主催者 国際パラリンピック委員会 (IPC)
- 運営主体 神戸2024世界パラ陸上競技選手権大会組織委員会
※会長：日本パラ陸上競技連盟会長(増田明美氏)、副会長：兵庫県知事、神戸市長他
- 競技日程 令和6年5月17日～25日計9日間
- 会場 神戸総合運動公園ユニバー記念陸上競技場（神戸市須磨区）
※練習会場：しあわせの村（神戸市北区）等
- 種目数 171種目
- 参加者数 約100の国と地域から選手約1,300人、役員約1,000人計2,300人
※来場予定者数は約9万人

【拡】 ■ひょうごプレミアム芸術デーの実施 11,310千円
(ふるさとひょうご寄附金等)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	11,310	0	0

➤ 県民誰もが気軽に芸術文化に親しめるよう、市町・民間事業者等とも連携し、美術館・博物館等の**無料開放や無料イベント、障害のある方や子育て世帯に配慮した取組等**を実施

○**実施期間** 令和6年7月9日(火)～15日(月・祝)

○**実施内容**

- ・美術館・博物館等の無料開放や無料イベント(子ども向けイベント等)の実施
- ・ひょうごプレミアム芸術デーのPR(オープニングイベント・広報の充実)
- ・障害のある方や子育て世帯に配慮した取組み(一時保育の実施、ハートフル・ファストトラックの設置、手話通訳の配置、自由に話せる観覧日の追加設置)
- ・**【新】ナイト・ミュージアムの開催**
県立美術館等において夜間イベント(ナイトツアー、プラネタリウム鑑賞等)を実施
- ・**【新】こども学芸員体験の実施**
兵庫陶芸美術館において児童・生徒を対象に学芸員の職業体験を実施
(小学校4年生～中学生)



令和5年度オープニングイベント



一時保育の様子

下記以外に関すること
教育委員会所管施設に関すること

担当課：県民生活部芸術文化課
担当課：教育委員会事務局社会教育課

企画運営班
施設・管理班

連絡先：078-362-3146 (内線2764)
連絡先：078-362-9434 (内線5765)

【新】 ■アートで躍動Z世代文化部応援プロジェクト

6,192千円
(芸術文化振興基金等)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	6,192	0	0

- 将来を担うZ世代の芸術文化活動を支援するため、**リアルとデジタルの両面で芸術文化作品等の発表の場を新たに創出**

○対象者 県内で芸術文化活動に取り組むZ世代

○実施内容

区分	実施内容
リアル	芸術文化作品の展示や、舞台芸術等のパフォーマンスを行う発表会を開催 <ul style="list-style-type: none"> ・開催場所：県立文化施設等 ・展示対象：絵画、彫刻、工芸、書道、写真等 ・舞台対象：吹奏楽、合唱、演劇、放送等
デジタル	<ul style="list-style-type: none"> ・自身のアート作品やパフォーマンスの写真や動画に、「#兵庫アートポータル」を付けて投稿 ・投稿作品の中から優良作品を県で選定し、県のインスタアカウント「兵庫アートポータル」上でリポスト等により紹介

II 活躍の場が広がる兵庫

【拡】 ■ 障害者芸術「する・みる・ささえる」 応援プロジェクト

2,767千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,383	518	0	866

➤ 障害者の芸術作品等の発表機会の確保、鑑賞機会の拡大、活動を支える人材育成の観点から、**芸術文化活動を行う障害者や団体等への多面的な支援**を実施

○ 「する」 作品展示・発表の支援

- ・ **実施内容** 常設展の開催（障害者アートギャラリー（原田の森ギャラリー内））
作品展示・発表会の開催支援（160千円/団体）

○ 「みる」 鑑賞機会の拡大に向けたサポート

- ・ **実施内容** 障害者が芸術鑑賞する際の合理的配慮研修の実施
- ・ **対象者** 劇場・ホール等芸術文化施設の運営者及びスタッフ

○ 「ささえる」 ユニバーサルなアート展示場の推進

- ・ **実施内容** **障害者芸術の認知度向上**のため、**県内市町で巡回展を開催**
- ・ **回数** 15箇所

○ 障害者芸術の例



第18回兵庫県障害者芸術・文化祭受賞作品

【拡】 ■HYOGOミュージアム魅力発信プロジェクト

4,559千円
(地域創生基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	4,559	0	0

- 大阪・関西万博を契機として、**県立社会教育施設等の活性化及び魅力を発信**するため、大学生等（HMサポーターズ）を活用したプロジェクトを実施

○事業推進会議の設置・運営：1,194千円

万博開催に向けた機運醸成や誘客施策について、魅力発信・集客力向上につながる取組を検討・実施

- ・ 構成員：有識者(大学教授、県広報プロデューサー、観光関係)、各施設担当者、HM サポーターズ代表10人 等
- ・ 回数：3回

【新】○HYOGOミュージアム魅力発信特設サイト開設：2,750千円

県立社会教育施設の魅力を発信するコンテンツを集約・発信する特設サイトを新設

【拡】○大学生等によるミュージアムサポートプロジェクト：615千円

選定されたHMサポーターズ(30人)が中心となり、若者の斬新な目線で施設の情報発信や活性化を図る取組を企画・提案

※対象施設：県立美術館、歴史博物館、考古博物館(加西分館含む)、人と自然の博物館、コウノトリの郷公園、陶芸美術館、横尾忠則現代美術館

5.次世代産業の創出

【拡】 ■水素ステーション整備促進事業

7,821千円
(サステナブル基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	7,821	0	0

- 燃料電池モビリティの普及による脱炭素化の推進を加速化するため、**県内の水素ステーション整備を促進**

○実施内容

地域での水素ステーション整備の実現に向けた取組

- ・ 地域内の課題・需要調査、候補地の検討
- ・ 水素ステーション整備に向けた関係者への働きかけ



エア・リキードMK神戸空港前
水素ステーション

【参考】 R5年度からの継続事業

- ・ 水素ステーション整備費補助事業 (50,000千円)
- ・ 燃料電池モビリティ利活用促進事業 (12,500千円) × 2件
- ・ 燃料電池バス導入促進補助事業 (25,000千円)

【新】 ■水素海外展開チャレンジ事業

12,282千円

デジタル田園都市
構想交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
5,514	0	0	6,768

➤ インフラ整備が先行する欧州を主として、**水素分野で優れた技術・製品を有する県内企業の販路拡大を支援**することで、産業競争力を強化

- 対 象 水素関連製品の海外事業展開に取り組む県内企業
- 採択件数 10社程度
- 支援内容 ①水素分野の専門家・コーディネーターによる伴走支援の実施
②マーケティング支援の実施
- 実施内容
 - ・水素の市場、世界動向の説明等の研修
 - ・ビジネスプラン策定、模擬商談、パワーディナー指導
 - ・国内展示会出展
 - ・海外展示会出展
 - ・商談のアフターサポート



HYDROGEN Technology EXPO
独・ブレーメン 2023.9.27-28

【拡】 ■空飛ぶクルマの社会実装に向けた取組

116,269千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	99,769	12,300	4,200

➤ 大阪・関西万博開催時における**空飛ぶクルマの社会実装を目指し、各種の取組を実施・支援**

1 空飛ぶクルマ実装促進事業：90,433千円

事業者による事業開発を促進するため、県内フィールドを活用した実証事業等を支援

- 補助対象 県域のみ、県域＋府域の事業
- 補助率 対象経費の1/2以内（府との連携の場合は1/4）
- 補助上限 飛行実証等ビジネス化準備：30,000千円
ビジネスモデルの検証：5,000千円
離着陸場整備準備：10,000千円

2 離発着場整備事業：25,836千円

万博時の飛行に必要な離発着場（暫定ポート）の安全柵を設置



尼崎フェニックス事業用地を活用した2地点間飛行



尼崎フェニックス事業用地に開設した暫定ポート



暫定ポート完成イベント（令和5年11月開催）

1 に関する事
2 に関する事

担当課：産業労働部新産業課情報・成長産業振興班
担当課：土木部港湾課港湾企画班

連絡先：078-362-9201（内線3534）
連絡先：078-362-3536（内線4444）

6.地域に根ざした産業の活性化

【拡】 ■ひょうご産業SDGs認証事業

17,619千円
デジタル田園都市
構想交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
8,809	0	0	8,810

➤ 令和5年度から開始した認証事業を拡充し、**県内企業によるSDGsの取組促進及び既認証企業の取組の強化・連携を図る**ことで、総合的にSDGsを推進

○導入段階企業向け

・先進企業の取組発信

ゴールド企業の先進的な取組やアドバンスト・スタンダード企業の優良な取組等についてデジタルブックを作成し、広く発信

・ひょうご産業SDGs経営診断

意識調査や取組度チェックを幅広く実施し、SDGsを意識付け

○実践段階企業向け

・SDGs展示会出展支援事業

ゴールド・アドバンスト企業のインセンティブとして、SDGs関連の展示会への出展料を補助

補助率 アドバンストステージ：1/3、ゴールドステージ：1/2

○発展段階企業向け

・SDGs認証企業の交流・連携

全国的なプラットフォームへ参画し、企業間の連携や情報交換を促進

【新】 ■ひょうごSDGs経営大賞

1,594千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
797	0	0	797

- 魅力ある取組を行う県内企業の信用力、認知度を向上させるため、**ひょうごSDGs経営大賞を創設**し、優れた事業モデルとして県内企業に発信

○実施内容

時代潮流を踏まえた新規事業（未来に向けた変革）に取り組むなど地域経済を牽引し、次世代の兵庫企業のロールモデルとなる企業の経営者を顕彰

【拡】 ■ひょうごTECHイノベーションプロジェクト（複合枠の創設）

29,000千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
14,500	0	0	14,500

- ひょうごTECHイノベーションプロジェクトにおける課題を踏まえ、**複数企業が同一課題に対して取り組むことのできる枠組みを創設**し、地域が抱える課題の解決可能性を高めるとともに、参入企業同士のオープンイノベーションを促進

○事業内容 市町の課題に対し、自社の技術で課題解決に取り組む**複数の事業者を支援**

区分	通常枠	複合枠（R6拡充）
企業数	1 課題に対し 1 企業	1 課題に対し 複数企業
実施方法	運営委託及び企業への実証補助	運営委託及び企業への実証補助
支援額	2,000千円/課題	3,000千円/課題（連携企業が3社の場合）
運営委託	1,500千円/課題	1,500千円/課題
実証支援	500千円×1企業	500千円×企業数
件数	10件	3件
予算額	20,000千円	9,000千円

II 活躍の場が広がる兵庫

■ 中小企業向け制度融資

607,905,905千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	607,905,905	0	0

- 県内中小企業の経営の安定と発展を図るため、金融機関及び兵庫県信用保証協会と連携し、県内の中小企業者が必要とする資金を低利で供給

○ 令和6年度の主な内容

- ・ 令和6年度融資枠：4,000億円

長引く物価高騰・円安や人手不足に加え、ダイハツ工業(株)の生産停止や能登半島地震の影響など先行き不透明要素もあることから、中小企業者の資金需要に柔軟に対応できる融資枠を確保

- ・ 災害対応貸付の常設化

頻発する自然災害に迅速に対応するため、災害対応貸付を常設化するとともに、県内市町が災害救助法の指定を受けた際に金融特別相談窓口を自動設置

【拡】 ■ものづくり支援センター運営事業

59,966千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
29,983	29,983	0	0

- 生産性に課題を抱える中小製造業を支援するため、**ものづくり支援センターを設置**し、AI・IoT・ロボット導入だけでなく、工場の現場改善や生産・労務管理システムの導入等についても包括的に分析・診断するチーム型支援体制により、**中小製造業の生産性向上を推進**

○実施内容

相談に応じ最適な専門家選
定・支援チーム編成

提案実現に最適な支援企業を選
定、チームに加え支援継続



NIRO本部 + 各センター(神戸・阪神・播磨・但馬)

- ・現場確認、現地ヒアリング
- ・**チーム会議(課題抽出・対策議論)**
- ・生産性向上提案

3.持続可能な農林水産業の実現

【新】 ■有機農業アカデミー開設事業

78,630千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
30,372	0	35,000	13,258

- 有機農業に興味を持つ就農希望者が増加する一方、有機農業に必要な知識・技術を実践的なカリキュラムに沿って体系的に習得できる教育機関がないことから、検討会意見を踏まえ、県立農業大学校に、「**経営として成り立つ有機農業**」を体系的に学ぶコースを新設し、人材育成を強化 ※有機農業を含む環境創造型農業推進施策検討会

○整備概要

設置場所 県立農林水産技術総合センター（加西市）内

定員 10名（教育期間1年）

整備項目 実習用ほ場整備、ビニールハウス、専攻棟等の施設整備、機械器具等整備 等

整備費 総額325百万円

○スケジュール（令和8年4月開校予定）

項目	R6	R7	R8
整備工事	ほ場造成、土づくり	施設整備 ビニールハウス整備	
開校準備	カリキュラム 検討・講師選定	募集	開校 授業(第1期)

【新】 ■ CSA手法拡大支援事業

2,388千円
〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,000	0	0	1,388

- 有機農産物等の販路拡大に向け、生産者と消費者を強固に結びつけることが可能な**CSAの手法を用いたモデルを形成し、シンポジウムにより好事例を展開**

○モデル形成支援

補助対象 生産者
対象経費 援農・収穫祭実施費、
備品整備費、広報経費等
補助率 1/2
補助上限 250千円
件数 8件

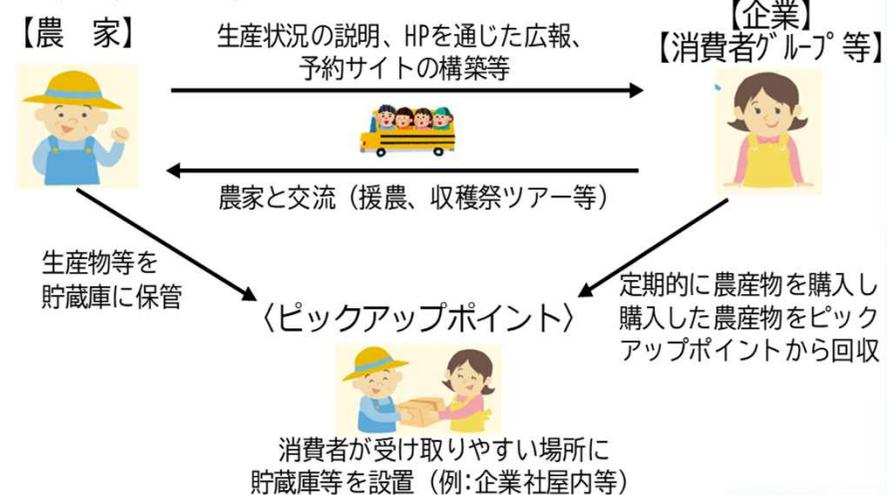
○シンポジウム開催

内容 基調講演、パネルディスカッション
回数 1回

(参考)CSA(Community Supported Agriculture)

- 前払いによる農産物の契約を通じて相互に
支え合う仕組み
- 農作業等に消費者が参加する特徴

■モデルケースのイメージ



【新】 ■ 県産有機農産物学校給食活用促進事業

1,920千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
960	0	0	960

- ▶ 有機農産物の販路拡大に向け、安定的需要が見込まれる学校給食において、環境負荷の少ない農業の価値啓発を通じ、**学校給食への県産有機農産物導入を支援**

○実施内容

- ・ 有機農業と環境配慮の取組に関する講座
- ・ 学校給食への県産有機農産物の提供

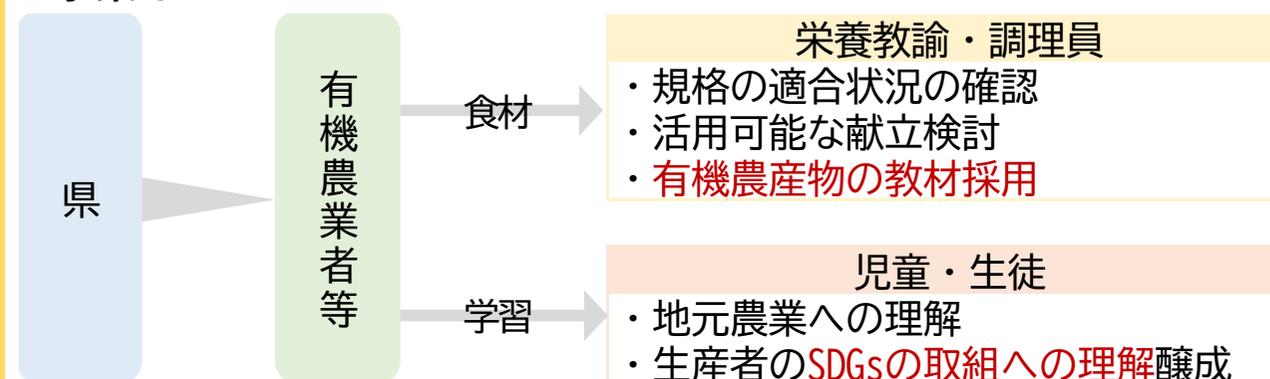
○実施手法

有機農業者で組織する団体等へ委託（550千円/件）

○実施件数

3件

■事業イメージ



【新】 ■ 地域有機農業塾開設支援事業

3,750千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,875	0	0	1,875

- 有機農業の拡大に向けた出口対策として購入行動を促進するため、講義と実習（有機農業塾）を通じ、**環境負荷低減のみならず手間やコスト増など正しい理解**を醸成する活動に対して支援

○実施内容

以下の全てを満たす栽培講座に対して開催経費を支援

- ・ 有機農業の環境負荷低減への意義、栽培に必要な技術や知識の習得
- ・ 地域の有機農業者との意見交換や交流
- ・ 年間10コマ以上
- ・ 定員延べ30人以上

○支援対象 地域で活動する団体等

○補助率 1/2

○補助上限 250千円

○補助件数 15件

【新】 ■SDGs酒米・酒生産支援事業

4,519千円

〔デジタル田園都市〕
構想交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,259	0	0	2,260

- 日本酒の有機 J A S 認証制度開始を踏まえ、環境創造型農業を推進する本県として、**認証取得に向けた取組支援**により、**県産酒米・日本酒のさらなるブランド力を強化**

○研修会の開催

目的 理解醸成と認証取得に向けた知識習得・対応策検討（個別相談も実施）
対象 県内酒造組合

○コンソーシアム取組支援

支援内容 （生産者）有機等酒米試験栽培経費、有機 J A S 認証取得費
（酒造会社）有機等日本酒醸造試験経費、有機 J A S 認証取得費

補助率 1/2

補助上限 （生産者）350千円
（酒造会社）980千円

補助件数 生産者3件、酒造会社3件

【拡】 ■ 水稲オリジナル品種普及推進事業

5,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	5,000

➤ 令和7年度誕生予定の高温耐性のある水稲オリジナル品種のスムーズな普及拡大のため、**協議会ホームページ等を活用した県民への情報発信（プロモーション）**を実施

○ 事業内容

ブランドロゴ制作、WEB構築、動画制作、ポスター・包装等デザイン制作等

○ 実施手法

ひょうごの水稲オリジナル品種普及推進協議会への負担金（1/2負担）

【新】 ■ひょうごオープンファーム強化事業 10,283千円

（デジタル田園都市
構想交付金）

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
5,141	5,142	0	0

- 持続性のある農林水産の実現のため、地域に人を呼び込み、**ひょうごの「農」への消費者理解を深め伝えるオープンファームの取組**を支援

○立ち上げ支援

取組開始に向け、専門家を派遣し、プログラムの開発等を支援

支援内容 企画、シナリオ作成支援、現地指導

○強化支援

取組のさらなる充実強化に向け、既に取り組む農林漁業者等を対象に、バージョンアップを図る際に必要な経費を支援

・施設強化支援[ハード支援]

対象経費 熱中症対策設備（東屋、大型扇風機等）、屋外トイレ等

補助率 1/2

補助金額 補助上限1,000千円

補助件数 5件

・取組拡大支援[ソフト支援]

対象経費 HP改修費、SNS広告費、動画作成費 等

補助率 1/2

補助金額 補助上限250千円

補助件数 10件

立ち上げ支援に関する事
強化支援に関する事

担当課：農林水産部総合農政課農林水産政策班
担当課：農林水産部総合農政課楽農生活班

連絡先：078-362-9193（内線3950）
連絡先：078-362-9198（内線3934）

【ねらい】オープンファームとは

- 地域へ消費者を呼び込み、単なる体験にとどまらず、
- 直接「農」の価値を伝えて消費者理解を醸成し、
- 農林漁業者の所得向上を実現させ、
- 持続可能な農林水産の実現を目指す取組

（作業体験）



（生産者による説明）



【拡】 ■ 但馬牛受精卵移植推進事業

4,673千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,336	0	0	2,337

- 兵庫県のブランド牛肉である**神戸ビーフ**の国内外の旺盛な需要に応えるため、但馬牛受精卵の生産・供給を強化するとともに、乳用牛等への**受精卵移植の取組を拡大**し、神戸ビーフの増産を支援

○実施内容

・ 受精卵供給体制の強化

乳用牛等への受精卵移植技術の普及を目的に、採卵経費支援、新鮮卵移植の一層の推進に加え、新たに技術向上研修会等の開催を支援

・ 受精卵移植技術の利用拡大

酪農家等での技術の利用拡大を目的に、受精卵適正管理と但馬牛産子飼養管理の指導、受精卵移植経費の支援を実施

○実施主体 県但馬牛受精卵移植推進協議会

○補助率 1/2以内

8.循環型社会の推進

令和6年度当初予算 主要施策

II 活躍の場が広がる兵庫

098

【新】 ■ペロブスカイト太陽電池実証促進事業

2,500千円
(地域創生基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	2,500	0	0

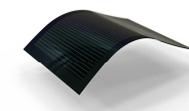
- 現在開発が進んでいるペロブスカイト技術について、開発企業や県立大学と連携し、実証実験実施に向けた調査・検討を行うとともに、新技術の普及に向けた情報発信を実施

○実施内容

- ・ 開発情報の整理・検討会の開催
- ・ フォーラムの開催

○ペロブスカイト太陽電池の特徴

- ・ 材料の塗布や印刷で作ることができ、大量生産
- ・ 低コスト化が可能
- ・ 折り曲げやゆがみに強く、フィルムに塗ることで軽量化が可能
- ・ 日本発の技術で、主原料のヨウ素は世界産出量の約30%が国内産



出典：東芝エネルギーシステムズ株式会社
東芝フィルム型ペロブスカイト太陽電池（イメージ図）

開発情報等の整理

文献調査、開発事業者ヒアリング等、開発動向等の情報整理

検討会の実施

実証や利活用等について有識者検討会を実施

フォーラムの開催

開発企業や有識者による事業・研究内容紹介等

【新】 ■ 脱炭素化に取り組む民間事業者への支援

26,691千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	26,691	0	0

➤ 民間事業者が実施する自主的な脱炭素化への取組や温室効果ガス削減に資する取組について補助

○ひょうご脱炭素経営スクールの開校：4,000千円

企業の自主的な脱炭素化への取組を促進するため、県内中小事業者等が、脱炭素経営のポイントや省エネ、再エネ導入の実践的手法について学び、**行動に繋げるための伴走支援**として、「ひょうご脱炭素経営スクール」を開校

- ・ **対象** 県内中小事業者等
- ・ **対象者数** 20社程度
- ・ **内容** 年間10回程度の連続講座を実施

○GHG排出量算定サービス導入補助の実施：22,691千円

温室効果ガス削減の取組を促進するため、民間事業者が実施する「**GHG排出量算定サービス**」の導入を補助

- ・ **補助対象** 県内中小事業者
- ・ **補助額** 最大20千円/月 × 補助率 1/2 × 期間（月）（最大12万円）
- ・ **補助件数** 165件

【拡】 ■PPA方式等による太陽光発電設備導入補助事業

15,000千円
(サステナブル基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	15,000	0	0

➤ PPA方式を採用して太陽光発電設備を導入する事業者に対して補助を実施

○実施内容

国の関連補助と連携し、太陽光発電設備及び蓄電池の設置に上乗せして補助を実施

○補助対象

県内の中小事業者に設備を設置する事例のうち、以下の補助金に申請した事業者

- ①環境省・経済産業省の補助金
- ②県の地域脱炭素移行・再エネ推進事業 **(対象拡充)**

○補助額

太陽光発電：2.5万円/kW、上限：100kW

蓄電池：1/6（上限：19万円/kWh(工事費込・税抜)の1/6)

○補助件数

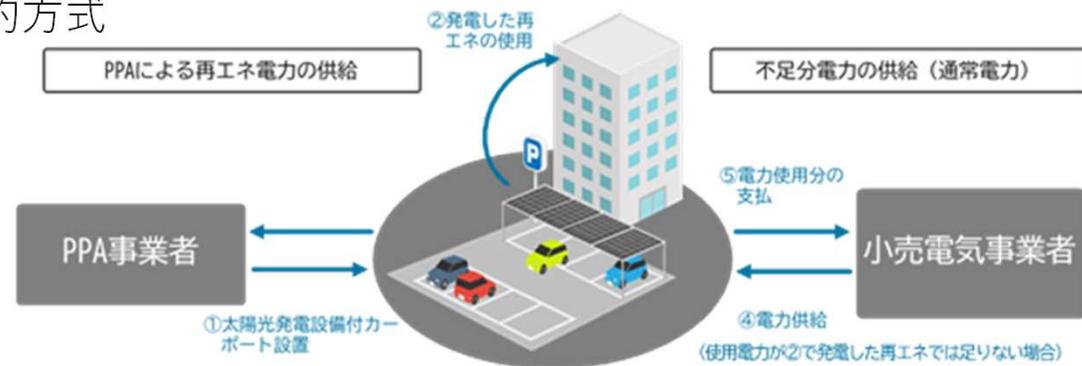
3件

○実施期間

R5～R7

【参考】PPA方式について

電気供給を受ける事業者が敷地や屋根のスペースをPPA事業者に提供し、PPA事業者が無償で整備した太陽光発電設備からの電力供給を受ける契約方式



【新】 ■ 地域脱炭素移行・再エネ推進事業

301,180千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
301,180	0	0	0

- 2030年度温室効果ガス排出削減、再生可能エネルギー導入目標及び2050年カーボンニュートラルの達成に向け、環境省の「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金（重点対策加速化事業）」を活用し、**再生可能エネルギーの導入を促進**

※活用を予定している環境省「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」は募集開始前であるため、事業詳細については変更の可能性がある。

○ 自家消費型住宅用太陽光発電設備等補助事業

- ・ 補助対象 個人（県内住宅）
- ・ 補助額 太陽光発電:3.5万円/kW（上限：4 kW）
蓄電池 :1/6(上限:15.5万円/kWhの1/6（工事費込・税抜）、上限:5 kWh)
- ・ 補助件数 700件

○ 自家消費型非住宅用太陽光発電設備等補助事業(PPA方式等による導入補助事業と併用可)

- ・ 補助対象 県内中小事業者
- ・ 補助額 太陽光発電:5万円/kW、上限：100kW
蓄電池 :1/3（上限：19万円/kWh(工事費込・税抜)の1/3)
- ・ 補助件数 3件

○ 木質バイオマスボイラー導入補助事業

- ・ 補助対象 県内事業者（熱供給・リース含む）
- ・ 補助額 木質バイオマスボイラー及び付帯設備：2/3（上限：4,000万円）
- ・ 補助件数 2件

【拡】 ■ 脱炭素型消費行動促進事業

6,585千円
(サステナブル基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
400	6,185	0	0

➤ 県民の脱炭素型消費への行動変容、ライフスタイルへの転換を後押しするトータルな啓発活動「**ひょうご1.5°Cライフスタイル**」を、関西人口の7割を占める兵庫・大阪両府県連携による規模のメリットを発揮して展開

○ 「ひょうご1.5°Cライフスタイル」の普及啓発

- ・ 県民の行動変容成果の可視化、モチベーションアップ
(脱炭素行動変容アプリ等と連携したダッシュボードの公開など)
- ・ 普及啓発ワークショップ・イベントの開催
- ・ 普及啓発ツール・コンテンツ (ロゴ・HP・動画等) の作成

○ 農産物カーボンフットプリント (CFP) による普及啓発

- ・ CFP表示の府県共通化 (ラベル表示項目、レイアウト、配色等)、品目拡大を検討
- ・ 農産物CFPを活用したモデル出展・販売による普及啓発
 - ① 府県の農産物イベントに相互乗り入れ、モデル出展
 - ② 流通事業者の両府県店舗等でのモデル販売

○ 製品カーボンフットプリント (CFP) による普及啓発

- ・ BtoC企業向け、製品CFP表示に関する勉強会の開催
- ・ 製品CFPラベル表示の検討

【新】 ■暮らしに根ざした資源循環の推進

8,746千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
3,000	0	0	5,746

- 広域的な資源循環モデルの構築に向け、**市町や企業等と連携したプラットフォームを設置**し、施設整備面と素材面からアプローチした2つの調査・検討を行うとともに、サステナブルファッションの展開に向けた実証事業の検討を実施

○資源循環プラットフォームの設置

- ・**構成員** 市町や企業（回収・再生原料化・再商品化事業者等）

○テーマ別検討会の開催

資源循環プラットフォームの中で、テーマ別に検討会等を開催

区分	施設整備面からのあり方検討	素材面からのあり方検討	サステナブルファッションの検討
構成員	ごみ処理施設等の更新時期を迎えた市町・一部事務組合	市町・一部事務組合、企業(回収・再生原料化・再商品化事業者等)	有識者、市町、アパレルメーカー、消費者団体
検討内容	・広域でのごみ処理・資源循環に必要な処理・リサイクルスキーム	・分別基準や効率的なりサイクル手法等	・衣類回収システムの構築方法等
予算額	5,746千円		3,000千円

【拡】 ■ひょうごの海を活用したブルーカーボンの創出

10,582千円
(サステナブル基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	10,582	0	0

- ▶ ブルーカーボン生態系（ノリ養殖、海藻や海草等が繁茂する藻場）によるCO₂吸収・固定量を定量化するとともに、CO₂削減を図る企業・団体等とのクレジット取引を行うブルーカーボンの創出を検討

○藻場再生とブルーカーボンの創出

- ・ひょうごブルーカーボン連絡会議の開催
- ・藻場再生ガイドライン等の作成
- ・クレジット化や県内企業との取引の検討

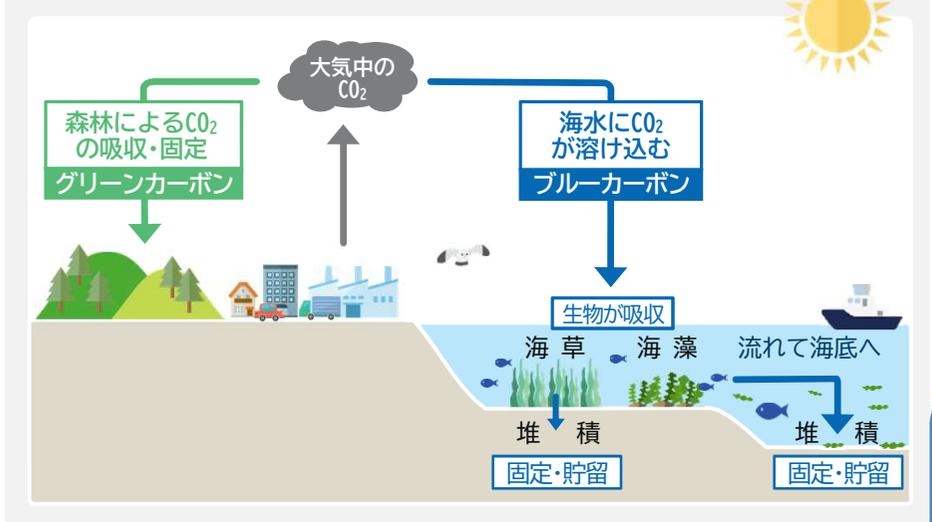
○養殖ノリの脱炭素化に向けた検討

- ・養殖過程におけるCO₂固定量の算定
- ・生産工程におけるCO₂化の検討

○ブルーカーボンシンポジウムの開催

先進的なブルーカーボンの取組事例を共有

炭素循環の仕組み



兵庫のノリ養殖



豊かな海を育む「アマモ」

II 活躍の場が広がる兵庫

【新】 ■ ナガエツルノゲイトウへの抜本的
対策

16,330千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
9,415	0	0	6,915

➤ 近年、本県で生息地域を拡大している特定外来生物「ナガエツルノゲイトウ」への対策を実施

○実施内容

- ・ 生息域調査及び見える化の実施（東播磨地域等）

分布状況をデータ化し、**地図上で一覧できるデジタルマップを作成**

- ・ 防除計画の策定（東播磨地域等）

分布が確認されている東播磨地域等において、根絶に向けた計画を策定

- ・ 簡易で効果的な防除手法の確立・実証

ナガエツルノゲイトウの分布状況に応じた防除手法の実証

- ・ 防除実施者の育成

防除実施者の育成を目的とした講習会等の開催

- ・ 普及啓発

注意喚起のチラシ配布や看板設置等

○実施主体：兵庫県外来生物対策協議会

（兵庫県、公益財団法人ひょうご環境創造協会、兵庫県自然保護協会で構成）

ナガエツルノゲイトウについて

原産国	南アメリカ原産（特定外来生物）	
特性	再生力・繁殖力が強く、2mmの茎や根からでも再生例あり	
主な被害	洪水被害	繁殖したナガエツルノゲイトウが大雨で大量に流れると水流の阻害や、排水口を塞ぎ、洪水の発生が懸念
	農業被害	田畑で繁殖すると作物を覆い収穫できなくなるほか、農耕機に付着し拡散の恐れ
	生態系被害	ため池等の水面を覆いつくし、水質悪化在来生物の生育環境と競合する等の悪影響
県内発生状況 [12市町]	東播磨地域	稲美町、加古川市、播磨町、明石市、高砂市(R5確認)
	その他	尼崎市、伊丹市、西宮市、神戸市、洲本市、南あわじ市(R5確認)、姫路市(R5確認)

【新】 ■ 県立総合射撃場オープニング式典 の開催

3,000千円
(環境保全基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	3,000	0	0

➤ 県立総合射撃場の開場にあわせて、県民等への周知・PRを行うため、**オープニング式典を開催**

- **実施時期** 令和6年6月（予定）
- **内容** 記念式典、施設披露・見学 等
- **場所** 三木市吉川町福井（県立総合射撃場内）



兵庫県立総合射撃場

【新】 ■不法投棄の未然防止に向けた効果的な対策の実施

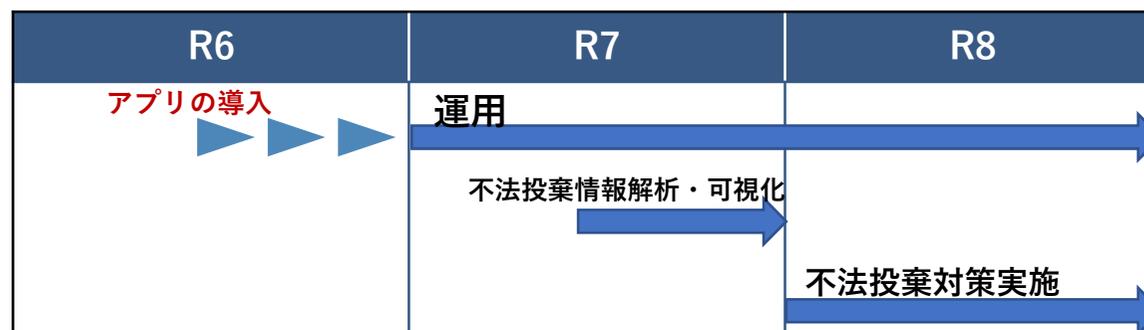
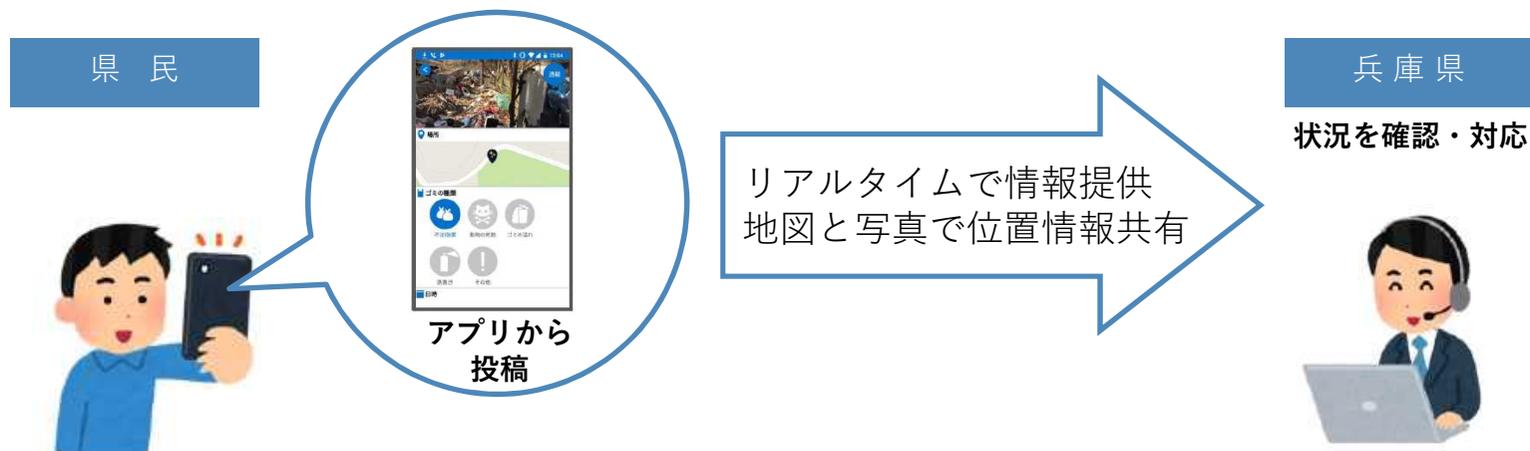
815千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	815

- 県民が**不法投棄を簡単に通報できる**スマートフォンアプリを導入

不法投棄通報システムのイメージ



1.誰もが安心して暮らせる環境づくり

【新】 ■ 特殊詐欺緊急総合対策 (R5.12月補正)

1,500,000千円
地方創生
臨時交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,500,000	0	0	0

➤ 増加する特殊詐欺被害を踏まえ、緊急対策を実施

○ 自動録音機能付電話機等普及促進事業の拡充：1,300,000千円

特殊詐欺被害防止に効果がある**自動録音機能付電話機等の機器購入費に対する補助事業(市町を通じた補助)を拡充**

- ・ 実施主体 市町
- ・ 補助対象 65歳以上の高齢者
- ・ 補助率 定額
- ・ 補助件数 130,000台
- ・ 補助上限 自動録音機能付電話機購入：10,000円、外付録音機購入：5,000円
(電話機等の実勢価格を踏まえ、想定価格を見直し、**全額県負担で実質無償化**)

想定価格：12,000円

県	市町	本人負担
4,000円	4,000円	4,000円

想定価格：10,000円

拡充後

県 10,000円

○ 特殊詐欺対策の普及啓発：200,000千円

多様化する特殊詐欺の手口や対策について幅広い周知を図るため、**県内各地できめ細かく被害対策講習会を開催**するとともに、**金融機関等高齢者がよく訪れる場所での普及啓発など、広く被害防止対策キャンペーンを実施**

【新】 ■ 特殊詐欺注意喚起オートコールシステムの整備

4,083千円

財源内訳

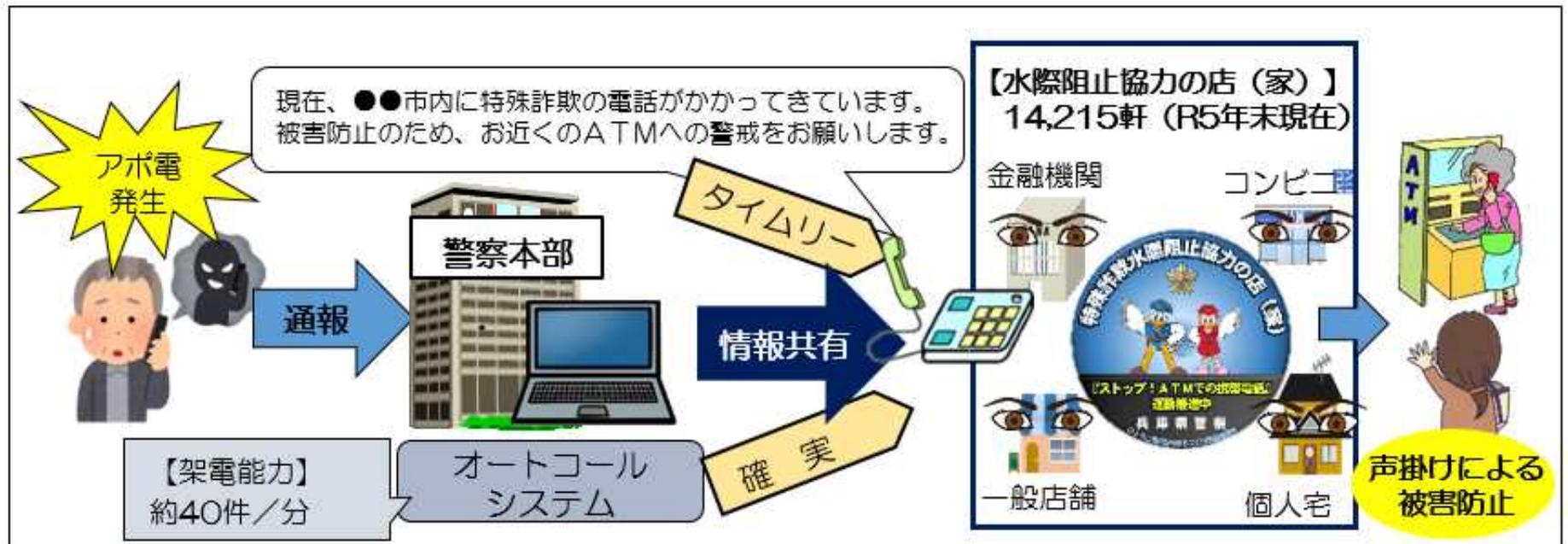
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	4,083

- ▶ オートコールシステム（自動音声による一斉電話連絡）を活用して「特殊詐欺水際阻止協力の店（家）」（金融機関、コンビニ、その他店舗や一般住宅）へ**タイムリーに情報を提供し、防犯活動への協力を呼びかけ、特殊詐欺被害発生の水際阻止を図る**

○ 実施内容

オートコールシステムを活用し、特殊詐欺のアポ電発生情報を共有するとともに ATM 等への警戒を依頼

（参考）オートコールシステムの流れ



【新】 ■ 带状疱疹ワクチン接種助成事業

60,000千円
地方創生
臨時交付金

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
60,000	0	0	0

➤ 带状疱疹は、治癒後に過酷な神経痛も危惧されることから、市町の助成事業に対する補助事業を令和6年度に実施し、**带状疱疹の発症予防を推進**

○補助率等 市町助成事業に1/2補助（上限額：2,000円）

○補助対象 接種日現在で満50歳以上の方

○補助回数 生ワクチン、不活化ワクチンとも1回限り

○実施期間 令和6年度限り

※令和7年度以降は、令和6年度の市町の実施状況を踏まえ対応を検討

Ⅲ 安全安心に包まれる兵庫

【拡】 ■ 介護業務における労働環境改善・業務効率化支援事業

1,500,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,200,000	0	0	300,000

➤ 介護の質の維持・向上及び介護職員の負担軽減を図るため、介護ロボット・ICT機器の活用による生産性向上に向けた取組を支援

○補助対象 介護ロボット、ICTの導入等に要する経費

○負担割合 国12/20、県3/20、事業者5/20

導入機器例



見守りセンサー



装着型パワーアシスト

※「介護ロボットの開発・普及の促進」(厚生労働省)

(<https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000209634.html>)を加工して作成

III 安全安心に包まれる兵庫

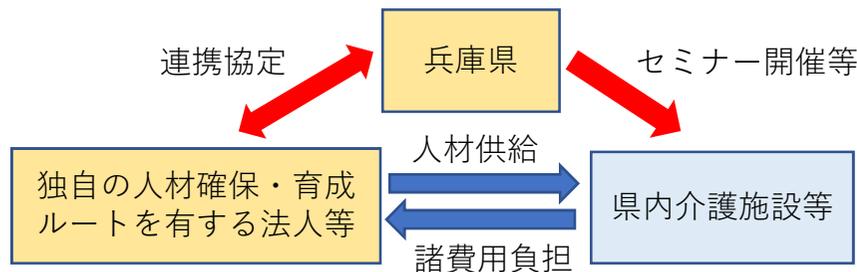
【新】 ■ 民の力を活用した特定技能外国人等
確保事業1,000千円
(医療介護推進基金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	1,000	0	0

- 即戦力としての期待が高い特定技能1号（介護）等の**外国人介護人材確保**のため、確保・育成に独自ルートで**先駆的に取り組む県内社会福祉法人等と連携した取組を推進**し、県内での質の高い外国人材を確保

○実施内容

- ・ 県内社会福祉法人等との連携協定締結
- ・ 県内事業者にも連携協定を広く周知し、マッチングを後押しするセミナーを開催



区分	役割
県	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県内介護施設等に対する法人等の取組の周知 ・ 外国人介護人材受入に必要な情報提供・支援
法人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定技能外国人の確保及び育成 ・ 県内介護施設等への情報提供及び就職支援

【参考】外国人介護人材の定着・促進に関する現行の主な取組

- ・ 外国人介護人材を受入れていない事業所に対して受入の手続きや好事例を紹介するセミナーの開催
- ・ 特定技能外国人の長期定着を図る介護福祉士資格取得支援
- ・ 外国人留学生を対象とした介護福祉士養成校への進学説明会の開催支援

【新】 ■ 自立支援・重度化防止普及推進事業

988千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
988	0	0	0

- 高齢者の自立支援や重度化防止の取組を推進するため、有識者・事業者等で構成する研究会を設置し、**好事例や先進的事例の調査・収集及び動画配信等による横展開を図る**ことで、介護施設・事業所における取組を支援

○研究会の設置

構成員：学識経験者、事業者団体等

主な検討内容：好事例等の評価検討、横展開する好事例等の選定、好事例等の調査・収集

○好事例等の発信

取組事業所が作成した啓発動画の動画配信等

Ⅲ 安全安心に包まれる兵庫

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
550	0	0	551

1,101千円

【新】 ■ 入院者訪問支援事業

- ▶ 入院者の孤独感や自尊心の低下を軽減し権利擁護を図るため、家族との交流の機会が乏しい**入院者に対する訪問支援事業**を**神戸市と共同で試行的に実施**（精神保健福祉法の改正（R6.4.1施行）により創設）

○ 訪問支援員の養成研修

- ・ 対 象 精神保健福祉士、相談支援事業所職員など
- ・ 回 数 1回（2日間）

○ 訪問支援員等の選任・派遣

- ・ 内 容 ①研修終了者のうち適任と認めたものを訪問支援員として任命
②入院患者からの訪問希望に応じて訪問支援員を派遣
- ・ 派遣病院 4病院

○ 推進・実務者会議の開催

- ・ 内 容 実施結果の振り返り、病院関係者や訪問支援員等との意見交換等を実施
- ・ 回 数 2回

<実施スケジュール>

区分	実施内容
R5	[準備期間] 国研修への参加(R6以降の県研修講師) 訪問支援会議の開催
R6	[試行期間] 訪問支援員の養成研修 訪問支援員等の選任・派遣(4病院のみ) 推進・実務者会議の開催
R7	[本格実施] R6同様(4病院→全病院へ拡充)



※1 入院者訪問支援員には、患者の尊厳を保持し、常に患者の立場に立って誠実に職務を行うことを求めるほか、守秘義務を規定。
※2 具体的な研修内容は省令等で規定。例えば、精神医療保健福祉に関する制度や現状、精神科医療における障害者の権利擁護等を想定。

【拡】 ■ 障害者ピアサポート研修事業

3,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
1,500	0	0	1,500

- ピアサポート活動※を通じて、**障害者の地域移行等を促進**するため、**ピアサポーター養成研修を拡充**

※自らの障害や疾病の経験を活かし、障害当事者に対する相談・助言等を実施

- 対象者
 - ・ 障害福祉サービス事業所等で現に活動もしくは活動を検討中のピアサポーター
 - ・ 障害福祉サービス事業所、相談支援事業所等の専門職等
- 対象障害 **全て**（令和5年度までは精神障害のみ）
- 定員 50名
- 研修内容
 - ・ 基礎研修（ピアサポートの理解、コミュニケーションの基本など）
 - ・ 専門研修（実務演習、関連施策の理解など）
 - ・ フォローアップ研修（研修の振り返り、障害特性の理解など）

【拡】 ■ 自転車ヘルメット着用促進事業

7,372千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	7,372

➤ 令和5年4月から、道路交通法の改正により全年代のヘルメット着用が努力義務化されたなかで、**本県の着用率が低迷**している状況を踏まえ、**ヘルメット着用への意識醸成のための啓発を引き続き実施**

○地域の交通安全イベントにおけるチラシ配布

- ・実施内容 地区交通安全協会実施イベント時のチラシ配布
チラシ電子データの配布（市町、事業所や団体、県内学校等）

○啓発動画作成・ネット広告

- ・実施内容 事故現場の再現やアニメ等を活用した動画やバナーを作成
バナーを用いたSNSターゲティング広告や、県HP上に啓発ページを作成

○高校生・高齢者向けの交通安全教室

- ・実施内容 高校、市町の交通安全教室において、スケアードストレイトを活用し、受講者の記憶・印象に残りやすい研修を実施



スケアードストレイト実演例

【新】 ■ 暗号資産追跡ツールの整備

4,437千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	4,437

- 暗号資産が暴力団等の犯罪組織のマネー・ローンダリング（資金洗浄）行為に利用されている現状を踏まえ、資金洗浄等に関する情報を収集することを可能とする**暗号資産追跡ツールを新たに導入**し、犯罪組織の実態解明、壊滅を図る

○ 実施内容

専用端末1台（インターネット利用端末）を購入のうえ、同ツールを利用して暗号資産の追跡捜査を実施

【新】 ■ 交番・駐在所の機能強化 (ネットワーク整備)

15,734千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	15,734

- 交番・駐在所の再編整備とあわせて県民の日常生活の安全安心を実現するため、交番・駐在所のネットワーク環境を整備し、地域警察活動の拠点としての機能を強化

○実施内容

現 状 整備率：交番76% 駐在所0.4%	整備後 整備率：交番100% 駐在所100%
事案対応後にシステム入力するために警察署まで移動	交番等でシステム入力が可能となり、地域街頭活動に従事する時間が確保可能
地域住民からの相談受理の際、過去の相談内容等を警察署に問い合わせる必要	交番等でデータ閲覧が可能となり、迅速的確な事案対応が可能

○所要額

R6 (全交番)	R7 (全駐在所)	計
15,734	35,147	50,881

※R6は交番を優先、R7に駐在所のネットワーク化を実施
(再編直後の交番にネットワーク環境を整備することで機能強化を図る)

【拡】 ■ 「安全安心アプリ」の導入 (県民に対する防犯情報等の発信)

6,248千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
3,124	0	0	3,124

- 県民の自主防犯意識の向上及び自主防犯活動の促進による防犯環境の強化のため、既存のメール配信システム「ひょうご防犯ネット」を機能強化させ、新たにスマートフォン専用アプリ「安全安心アプリ」を導入

○実施内容

「ひょうご防犯ネット」に代わり、新たにスマートフォン専用アプリ「安全安心アプリ」を導入

<主な機能>

- ・防犯情報発信機能（プッシュ通知やエリア通知機能等の追加）
 - ・防犯機能（防犯ブザー機能等の追加）
- ※アプリ導入後もガラケー利用者等へのメール送信機能は存置

【新】 ■有機フッ素化合物(PFAS)への対応

11,027千円

〔デジタル田園都市
構想交付金〕

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
2,483	0	0	8,544

- 健康への影響が懸念される有機フッ素化合物（PFAS）について、**県内全域の河川や地下水での監視地点を拡大し、モニタリング調査を強化**

○公共用水域の常時監視の強化（PFOS・PFOA）

- ・環境基準点に加え、補完地点等で継続的に調査を実施

区分	R5	R6
河川	15地点 	66地点
海域	25地点	25地点
地下水	— 	45地点

PFAS

1万種類以上の有機フッ素化合物の総称

製造や輸入が禁止されたPFAS

PFOS

ペルフルオロオクタンズルホン酸

PFOA

ペルフルオロオクタン酸

○PFASの実態把握・調査研究

- ・PFOA・PFOS以外のPFASの実態調査を実施
- ・有識者会議で調査計画・結果を検討
- ・必要に応じて**事業者を指導**

【新】 ■大麻グミ等の危険ドラッグ対策事業

1,980千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	1,980

- 令和5年11月に救急搬送が多発した「大麻グミ」の原因成分は、医薬品医療機器等法により規制されたが、今後も、同様の商品が流通する恐れがあることから、**乱用の危険性について啓発を実施**

○実施内容

特に乱用者の多い若者世代に効果的に啓発を行うため、当該年代の利用者が多いSNSにおいて啓発広報を実施

○実施期間

令和6年5月～7月の3ヶ月

(※卒業や入学等、青少年の生活環境に変化が生じる時期に集中的に啓発を行う)

【参考】令和4年検挙者数（警察庁）

	検挙人数	構成割合
合計	264人	100.0%
20歳未満	16人	6.1%
20代	136人	51.5%
30代	59人	22.3%
40代	32人	12.1%
50歳以上	21人	8.0%

約80%が
30代以下

【新】 ■ DV防止・被害者保護推進強化事業

10,760千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
6,005	0	0	4,755

➤ DV被害者の相談体制を強化するため、**SNSを活用した相談窓口の開設や民間団体のオンライン相談体制強化を支援**

○ SNSを活用した相談窓口の設置

若年女性でも相談しやすい相談体制を確保するため、**LINE等を活用した相談窓口を開設**

○ ICTを活用したDV被害者等の支援

遠方のDV被害者等に対応するため、**相談のオンライン化を実施する団体を支援**

- ・ **補助対象** オンライン相談に必要な環境整備（情報機器の整備等）
- ・ **負担割合** 国1/2、県1/4、事業者1/4

○ 民間団体立上支援事業

DV被害者等への支援を地域で実施するため、**民間団体の立ち上げを支援**

- ・ **補助対象** 備品購入費、広報経費、職員募集経費、人件費等
- ・ **負担割合** 国1/2、県1/2

【拡】 ■ 依存症にかかる自助グループ 活性化及び啓発促進等事業

11,149千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
5,574	0	0	5,575

➤ 依存症に関する正しい知識の理解を進め、適切な支援や治療につなげていくための取組を実施

○ 自助グループ等への活動支援

- ・ 補助内容 依存症に関する研修・セミナー、チラシ等による啓発活動等
- ・ 補助上限 500千円/団体

○ 依存症理解に向けた啓発事業

若者世代への取組の拡充、ハイリスク層への働きかけを実施

啓発対象	内容
新 高校生	・ 依存症をテーマにした動画を作成 ※教育資材の補助ツールとして、教育機関と連携して活用
大学生	・ 学生向けセミナー ・ 教員向け研修
新 働き盛り世代 (ハイリスク層)	・ 啓発用資材の作成、デジタルサイネージを活用した啓発
一般県民	・ 啓発フォーラム ・ 検索連動型広告

【新】 ■ 人権ダイバーシティ推進事業

3,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	3,000

▶ 多様性と包摂性のある社会をめざすため、**性的マイノリティの当事者が抱える生活上の困難や不安を軽減・解消するなど県民誰もが安心して暮らせる環境づくり**に向けた取組を実施

○ 県パートナーシップ制度の運用開始(R6.4 予定)

- ・ 同性カップルや事実婚のカップルの届出を受けて県が証明書を交付することで、カップルたちの日常生活の困りごとや不安の解消につなげる
- ・ 誰もが人生のパートナーと協力しながら、安心して暮らせる環境づくりを目指す

○ 性的マイノリティの理解増進の取組

・ 講演会や研修の実施

LGBTシンポジウムの開催（神戸市内）
LGBT出前講座の実施（県内10回程度）

・ レインボーステッカーの配布

○ 性的マイノリティに関する相談・交流会の実施

- ・ LGBT電話相談（毎週土曜日：18～21時）の継続実施
- ・ LGBT支援団体による交流会の継続開催

区分	本県パートナーシップ制度の特色
制度対象	性的マイノリティのカップル、事実婚のカップルが対象 ※希望に応じて、子どもや親等の氏名も届出受理証明書に記載可能
届出手続	原則、電子申請や郵送で手続きが可能
対象地域	県内どこの地域にお住まいでも届出可能
自治体間連携	制度の相互利用や転居時の手続簡素化等、他自治体との連携を検討

【拡】 ■ SNS誹謗中傷等対策強化事業

7,816千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	7,816

- SNSにおける**差別的な書き込み等を抑止するための条例制定を検討**するとともに、**被害者相談やモニタリング等**を実施
 - ネット上の人権侵害抑止に係る条例検討**
 - インターネット上の誹謗中傷や差別等を抑止するため、条例の制定に向けて検討
 - ・**検討メンバー** 学識、弁護士、ネット関係者、マスコミ関係者等で構成
 - ・**会議回数** 4回
 - インターネットモニタリング事業**
 - ・**モニタリングの実施**
SNS上の誹謗中傷への対応を強化するため、検索対象項目を追加
 - ・**市町職員等モニタリング研修**
市町に対しモニタリング手法や有害情報を共有する会議を実施
 - ネット上の誹謗中傷等に関する専門相談等**
 - ・弁護士による専門相談（電話及び面談）の実施
 - ・書き込み削除や発信者情報開示等の法的手続きを支援するため、弁護士を中心としたサポートチームを設置

【新】 ■ 権利擁護支援体制整備・拡充事業

1,543千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	1,543	0	0

- 成年後見人等の権利擁護の担い手が不足する中、全県域で**尊厳のある本人らしい生活の継続が支えられるよう**、権利擁護支援体制の拡充と担い手養成を**段階的に実施**

○ 権利擁護にかかる研修

権利擁護支援等に関する県協議会の方針に基づき、県・市町で役割分担の上、全県的な研修を実施

区分	対象	内容
① 権利擁護サポーター等養成研修	一般県民	成年後見の制度・法律、対象者との接し方などの基礎的内容
② 法人後見実施法人等養成研修	法人後見実施法人等	法人後見の基本理念等を学ぶとともに、実施法人間の情報交換等を実施
③ 意思決定支援研修	福祉サービス従事者、市町職員等	意思決定支援の考え方・手法等

【拡】 ■ 犯罪被害者等への支援の充実

7,822千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
1,861	0	0	5,961

- 経済的支援制度の充実として、**犯罪被害直後に要する費用に対する見舞金制度を創設**するとともに、**遺体搬送制度の補助範囲を拡充**して遺族の負担を軽減

【新】○見舞金制度の創設：4,100千円

犯罪被害直後に発生する様々な費用に対して、県として早期に支援を行うことで、被害者等の経済的負担を軽減

・支給対象

死亡 犯罪により死亡した被害者の第一順位遺族（配偶者・子・父母等）

重傷病 犯罪による負傷又は疾病（精神疾患含む）により、治療期間が1か月以上を要すると診断された被害者

・支給金額 死亡：30万円、重傷病：10万円

【拡】○遺体搬送制度の拡充：3,722千円

司法解剖場所（神大病院・兵庫医大病院）から県外自宅等への搬送費、警察署から県内・県外自宅等への搬送費、有料道路利用料を全額補助

※現行：司法解剖場所から県内自宅等への搬送費のみ補助

**【拡】 ■ 軽・中度難聴児補聴器購入費等
助成事業**

7,090千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	7,090

➤ 国支援制度の対象外となる軽・中度難聴児に対する補聴器購入費用等の助成について、**国のこども補装具の所得制限の撤廃（令和6年4月施行見込み）に準拠し、所得制限を撤廃**

- 実施主体 市町
- 対象者 0歳から18歳（到達年度末）で聴力レベル30dB以上70dB未満
※所得制限を撤廃（現行：市町村民税所得割（世帯合算）23.5万円未満）
- 補助率 定額（1 / 3相当）
- 補助額 購入：2～5万円
交換：3～9千円

2.暮らしを支える基盤の強化

【新】 ■ 医師の働き方改革関係事業

747,539千円
(医療介護推進基金)

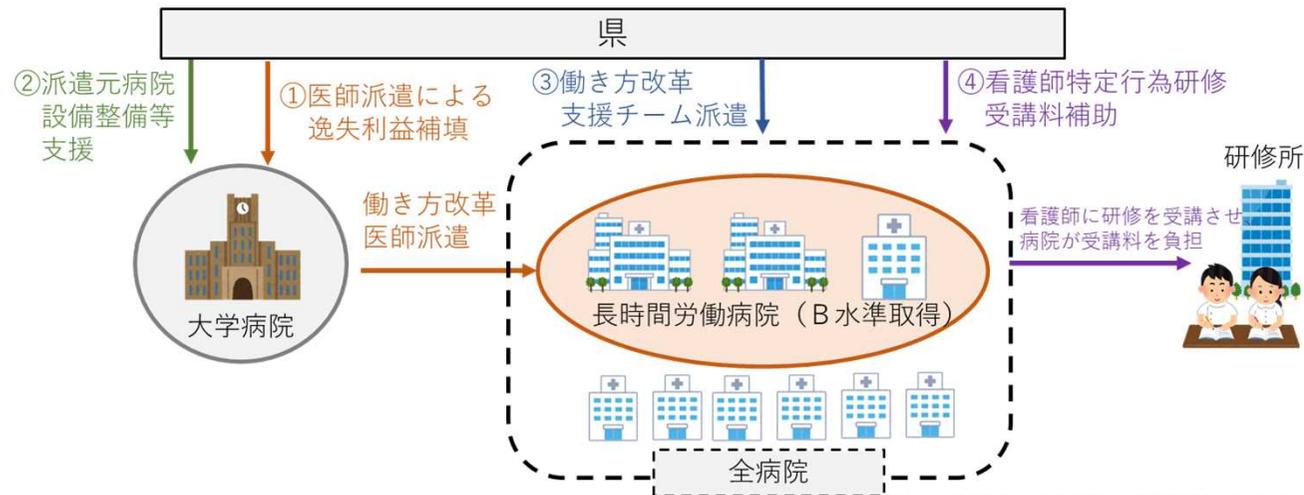
財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	747,539	0	0

➤ 新たに創設された医療介護基金メニュー等を活用し、医師の時間外労働の縮減対策を実施

○ 実施内容

区分	内容	予算額(千円)
①働き方改革医師派遣	長時間労働医療機関への医師派遣を支援	470,135
②派遣元病院設備整備等支援	派遣元となる大学病院等の勤務環境改善支援 (ICT化推進など)	248,444
③働き方改革支援チーム派遣	希望する病院に働き方改革支援チームを派遣	10,080
④看護師特定行為研修受講料補助	特定行為(研修修了により医師等の判断を待たずに看護師が実施可能となる医療行為)を行うことができる看護師を養成するため、研修受講料を病院が負担した場合、その1/2を支援	18,880



【新】 ■ 新興感染症発生時の体制確保の促進 365,467千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
179,795	5,877	0	179,795

➤ コロナ禍における課題を踏まえ、新興感染症発生時の初動体制等を確保するための事業を実施

○ **感染症指定医療機関施設整備補助事業：359,590千円**

対応可能な医療機関を確保するため、あらかじめ協定を締結し、感染者の個室や個人防護具保管施設の整備にかかる経費を補助

- ・ 補助対象 ①個室の整備に要する経費、②個人防護具の保管施設の整備に要する経費
- ・ 補助率 ①2/3（上限：9,697.3千円/室）、②10/10（上限：239.3千円/㎡）
- ・ 負担割合 国1/2、県1/2

○ **感染症対応能力向上促進事業：5,359千円**

平時から、**幅広い医療機関及び社会福祉施設が感染症対応のノウハウを習得**するための研修等を実施

○ **小児感染症対応力強化事業：518千円**

小児感染症患者については、限られた小児対応医療機関（県内33病院）で対応する必要があることから、感染症対応力の強化を図るための研修等を実施

■ 総合衛生学院建替整備事業

2,197,793千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	251,336	1,701,800	244,657

- ▶ 県立総合衛生学院の校舎老朽化に伴う、**新長田駅南地区への移転・建替整備が令和6年夏頃完了予定**



9F	大講堂(兼体育館)	
6～8F	兵庫教育大学	<ul style="list-style-type: none"> 働きながら学べる現職教員等の教育拠点 子どもの不登校や発達障害、大人のストレスなどに関する相談（現神戸ハーバーランドキャンパスを移転・拡充）
5F	兵庫県立大学	<ul style="list-style-type: none"> 企業人材育成のリカレント学習拠点(地元企業人材のスキルアップ等) 産学融合型ベンチャー・スタートアップ支援拠点 産学連携・研究推進機構の神戸地区拠点(地場産業のDX支援等)
1～4F	県立総合衛生学院	<ul style="list-style-type: none"> 医療・介護職養成の県立専門学校（学科：助産、看護、歯科、介護） 本校と分校（介護福祉学科）を集約し、医療・介護の連携を推進

【新】 ■へき地診療所等オンライン診療実証モデル事業

10,915千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	10,915	0	0

- 県内のへき地診療所の医師の高齢化に対応し、へき地医療を維持するため、市町と連携し、オンライン診療の活用に向けた**地域実証モデル事業を実施**

○モデル事業実施

県内の2地域において、地域性に応じた適切なオンライン診療の手法を検討、実践し、課題抽出を実施

○遠隔医療フォーラムの開催

- (1回目) モデル事業実施の制度説明、導入モデルのシミュレーションなど
(2回目) 本事業実施後の実証事例発表など



【新】 ■ がん検診受診率向上対策推進事業

2,463千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	2,463

- 令和5年3月に改定された国の第4期がん対策推進基本計画において、がん検診受診率の目標が50%から60%に引き上げられたこと等を踏まえ、**がん検診受診率の向上に向けた更なる取組を実施**

○市町向けがん検診受診率向上に係る研修会の開催

○WEB広告等を活用した普及啓発の実施

- ・ **対象者** 県内在住のがん検診受診対象者(男性:40歳以上、女性:20歳以上)
- ・ **実施期間** がん検診受診率60%達成に向けた集中キャンペーン月間(10月)

【参考】がん検診受診率(単位:%)

区分	胃がん			大腸がん			肺がん			乳がん			子宮がん		
	H28	R1	R4												
全国	40.9	49.5	48.4	41.4	44.2	45.9	46.2	49.4	49.7	44.9	47.4	47.4	42.3	43.7	43.6
兵庫県	35.9	44.1	43.0	39.8	42.5	43.2	40.7	44.6	44.2	40.6	42.1	42.8	38.1	39.1	38.9
順位	42位	42位	45位	31位	34位	37位	42位	39位	43位	39位	42位	39位	43位	41位	41位

(国民生活基礎調査)

【新】 ■先天性サイトメガロウイルス感染症 2,250千円
調査研究事業 (ふるさとひょうご寄附金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	2,250	0	0

- 各産科医療機関・県・大学の産官学で連携し、新生児の聴覚障害等を引き起こす感染症「先天性サイトメガロウイルス」の検査手続の確立に向けた実証研究を実施

○**検査実施**

神戸大学と連携し、産科医療機関において6ヶ月間検査を実施（2カ年で県内7産科医療圏域の各中核病院等で実施）

○**検討会開催**

検討会を開催し、検査を実施する産科医療機関の拡大に向けた課題抽出、対応策を検討

【参考】先天性サイトメガロウイルスの概要

区分	内容
感染経路	妊娠中に初めて感染した場合、胎盤を通じて胎児に感染（出生後に感染した場合は、基本的に症状なし）
症状	新生児の聴覚障害、精神発達遅滞等
発症率	1/1,000（先天性20疾患※ ¹ のうち最も高い疾患が1/2,500）
検出方法	尿検査により100%検出可能
治療※ ²	生後2ヶ月以内に服薬を開始した場合、100%の効果（聴力改善：60%、不変（聴力が落ちない）40%）

※1 国が定める先天性20疾患は、全産科医療機関で検査を実施

※2 2020年～神戸大学等の研究による

【新】 ■ 循環器病の包括的な支援体制構築 推進事業

9,000千円

財源内訳

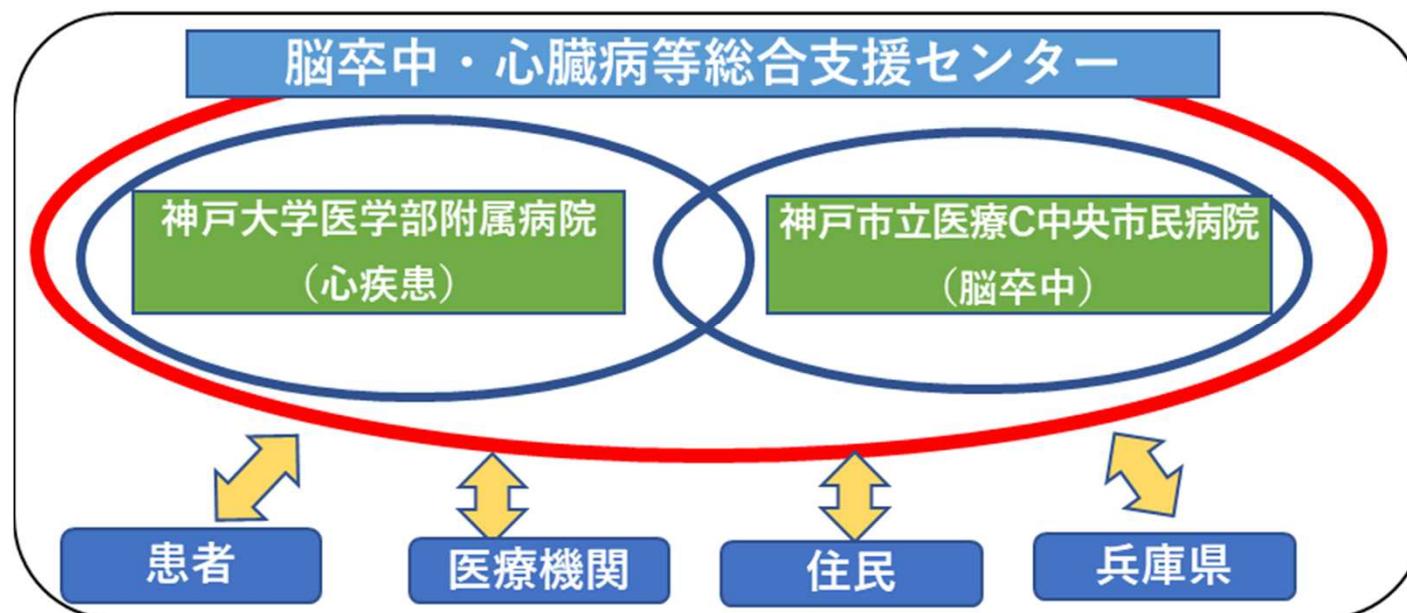
国庫	特定	起債	一般
4,500	0	0	4,500

- 循環器病患者及び家族へのスムーズかつ適切な情報提供・相談支援について多職種が連携して取組むための「脳卒中・心臓病等総合支援センター」を神大病院（心疾患）及び神戸中央市民病院（脳卒中）に設置

○ 実施内容

「総合支援センター」を設置し循環器病患者への包括的支援の全県への展開を推進

- ・ 地域住民を対象とした予防に関する情報提供、普及啓発
- ・ 地域医療機関を対象とした研修会等の開催
- ・ 相談支援を効率的に行うための情報資材の提供 等



【新】 ■ 訪問歯科衛生士人材育成事業

1,211千円

(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	1,211	0	0

- 高齢化により増加する訪問口腔健康管理の需要に対応するため、**スキルを持った歯科衛生士を育成**する必要がある（次期保健医療計画に記載予定）ことから、**県歯科衛生士会が行う実地研修への支援**を実施

○ 実施内容

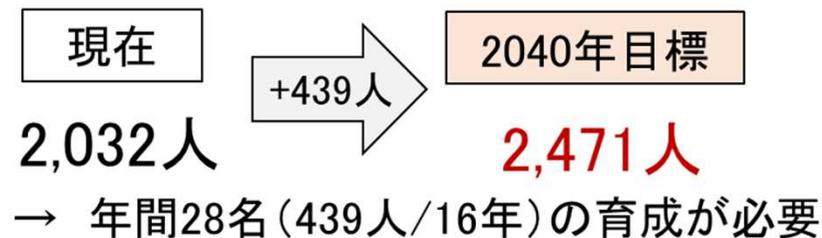
・ 実地研修の実施

希望する歯科衛生士を対象に、事前説明会を実施した上で、指導者と在宅訪問を行う実地研修を実施

・ 同行訪問報告会の実施

各圏域の訪問事例を通して、訪問歯科口腔健康管理の課題抽出を行い、今後の方向性について検討

【スキルを持った歯科衛生士数及び目標数(推計)】



※ 2040年: 団塊ジュニア世代が65歳以上となる高齢化のピーク

【訪問歯科衛生士に必要となるスキル例】

- ・ 居宅における診療器具のセッティング
- ・ 要介護者への対応(椅子等への誘導)
- ・ 診療椅子ではない通常の椅子での検診手順
(又はベッドに寝た状態での検診手順)

【新】 ■ 入院時食事療養支援事業

206,324千円
(医療介護推進基金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	206,324	0	0

- **入院時食事療養の食材料費の高騰による病院負担を軽減**するため、診療報酬の見直し（R6.6～）までの間の支援として、医療機関に対して補助を実施

○対象施設

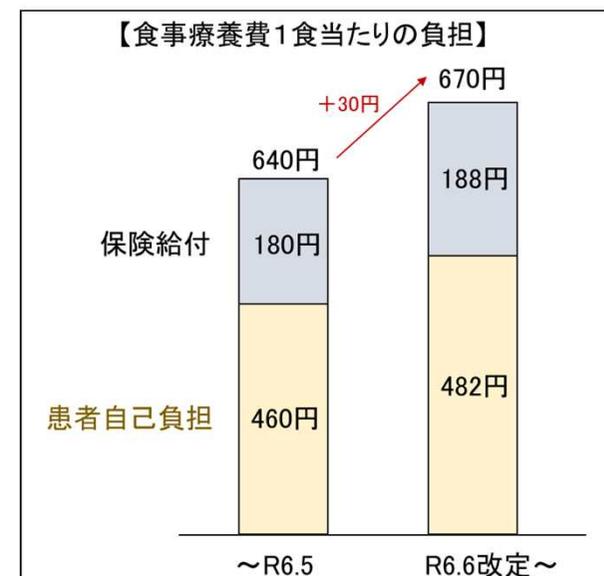
病院・有床診療所

○補助額

許可病床数 × 1,600円 × 2ヶ月

○対象期間

R6.4～5月（R6.6月以降は診療報酬改定と併せて改定対応）



■新型コロナウイルス対策事業

30,366千円

財源内訳

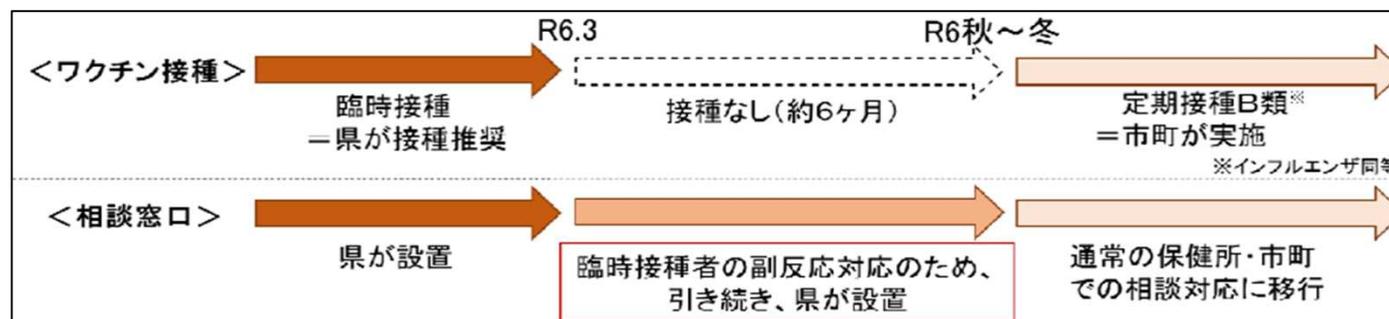
国庫	特定	起債	一般
14,794	0	0	15,572

- 新型コロナウイルス感染症は、令和6年4月から新たな診療報酬体系による通常医療に移行することから、これまでの特別な対応は原則として終了するが、円滑な移行に向けた取組について引き続き実施

○実施内容

項目	現在の対応 (R5.10～R6.3)	次年度以降の対応(R6.4～)
相談体制	コロナ後遺症相談窓口	規模縮小して継続
	ワクチン副反応相談窓口	
ゲノム解析	国からの要請により、変異株の発生を監視	R5と同規模で継続

※R6.3まで臨時接種期間であることを踏まえ、定期接種開始までの間、引き続き相談窓口を設置。併せて同窓口において、後遺症の相談も受け付ける。



【新】 ■ 病院DX推進事業

600,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	600,000	0

- 人口減少、少子高齢化や医療制度改正等に対応しつつ持続可能な病院経営に資するため、**ICTを用いた医療の質向上や医療従事者の働き方改革、患者の利便性向上に向けた病院DXを推進**

○ 県立病院DX推進プラン取組期間 令和6年度～令和10年度

○ 令和6年度実施内容

区 分	主な内容 (R6)
診療機能の高度化 ・ 医療安全の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ AI機能搭載問診システム [試行・導入] ・ AIを活用した画像診断等支援システム [試行・導入]
働き方改革等への対応	<ul style="list-style-type: none"> ・ 医師等の勤怠管理システム [開発・試行] ・ ロボットシステム(院内搬送、配膳等) [導入検討・実証実験] ・ 電子カルテシステム連携 <ul style="list-style-type: none"> ①音声入力機能の追加 [試行・導入] ②勤務表自動作成機能の追加 [試行・導入]
患者サービスの向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ オンライン資格確認システムの機能拡張等 [機能拡張・端末追加]

【新】 ■ 阪神・淡路大震災30年追悼式典

17,700千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	17,700

- 阪神・淡路大震災から30年の節目を迎えるにあたり、犠牲となられた方々へ哀悼の誠を捧げるとともに、安全・安心な社会づくりに向けて歩む決意を発信するため、追悼式典を県公館で実施し、HAT神戸会場やWEBでも中継し、広く県民に共有

○ 1.17のつどい（追悼式典）

開催日 令和7年1月17日

開催場所 県公館大会議室、HAT神戸



追悼式典（震災25年）

○ ひょうご安全の日のつどい

当日はひょうご安全の日のつどいとして、追悼式典のほか、ひょうごメモリアルウォーク、交流ひろば・ステージ、防災訓練等を同時開催



メモリアルウォーク



交流ひろば・ステージ



防災訓練

【拡】 ■ 防災ツーリズム推進事業

13,738 千円

デジタル田園都市
構想交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
2,333	11,405	0	0

○ 防災ツーリズムツアーの更なる展開

人と防災未来センター等防災関連施設をフィールドパビリオンとして活用するとともに、周辺の**観光資源と連携**させることで、楽しみながら防災を学び・体験し、**震災の経験と教訓を継承**

・ 防災ツーリズム戦略（ストラテジー）に基づくツアーの実施

R7年度の市場化を目指し、R5作成戦略に基づきツアーコースを造成するとともに、万博等に向けてプロモーションを実施

・ 世界銀行「防災グローバルフォーラム2024」（6月16日～21日）への参画

世界中から集まるフォーラムの来場者を対象に、県内の防災資源や、周辺観光資源を巡るスタディツアーの提供等を実施

○ 防災まち歩きの推進

創造的復興サミットを見据え、**阪神・淡路大震災の経験・教訓を次世代に継承・発信**していくため、民間企業・団体等との連携により、新たに防災まち歩きを展開

・ ガイド育成事業

・ メモリアルポイントウォーク

スマホ上で**震災当時の街並みの写真と現在を比較できるマップ**を作成し、地元ガイドが案内するポイントを巡るツアーを実施

・ 防災ウォーク「備」

震災の遺構を巡るとともに、コース上のミッションやクイズに挑戦し災害時に役立つ歩き方や知識をゲーム形式で学べる体験型イベントを実施



ガイドとの防災まち歩き

【新】 ■南海トラフ巨大地震対策の充実強化事業

40,183千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
18,137	0	0	22,046

➤ 国の南海トラフ地震防災対策推進基本計画の見直しを踏まえ、県内市町や近隣府県と連携し、本県の津波浸水想定及び地震・津波被害想定の見直し及び津波災害警戒区域を指定(事業期間:R6~7年度)

○**検討委員会の設置・開催**

調査前提設定、被害想定項目設定、対策の方向性などについて検討

○**津波浸水想定の見直し**

津波・河川遡上想定のために必要なデータを収集・整理し、最大クラスの津波計算モデルを前提に最高津波高、到達時間、津波浸水域分布等を算定・作成

○**地震・津波被害想定の見直し**

県内の自然条件、社会条件の最新データをもとにシュミレーションを行い、物的被害、人的被害、経済損失等の想定を作成

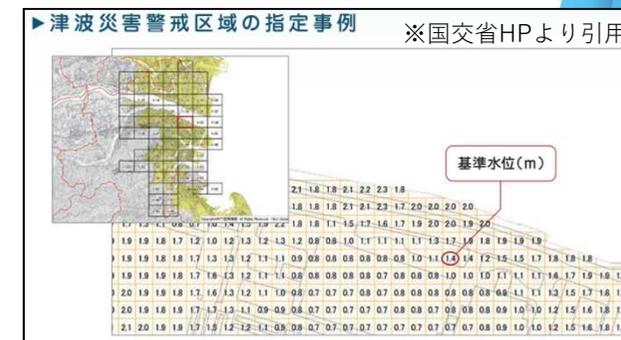
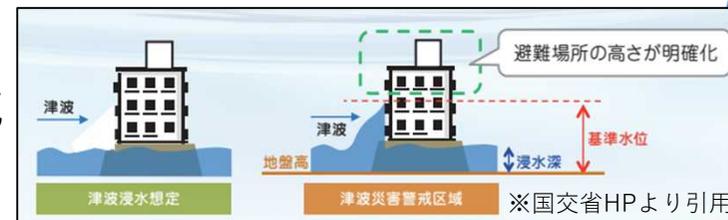
○**津波災害警戒区域指定基礎資料・公示図面作成**

基準水位の算出・調査に基づき、警戒区域図面等を作成

○**対象地域** 県下全域

○**スケジュール (案)**

区分	R5	R6	R7	R8
国基本計画	公表予定 ●			
検討委員会		→		
基礎調査等		基礎調査・シミュレーション等 →		公指定
市町等との連携・調整		→		



【新】 ■ 創造的復興の理念を活かした ウクライナ支援事業

30,000千円
(ふるさとひょうご
寄附金)

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	20,000	0	10,000

- ウクライナ支援検討会等での議論を踏まえ、ウクライナの復興に向けて、本県の強みを活かした支援を実施

○ 義肢装具リハビリ研修

現場で一定程度の**義肢装具リハビリ訓練ができる人材を緊急的に育成**

- ・ 研修期間 3ヶ月
- ・ 受入人材 作業療法士、理学療法士（各1名、計2名程度）
- ・ 研修講師 総合リハビリテーションセンター医師、セラピスト、上肢・下肢切断患者モデル
- ・ 実施内容 義肢装着訓練の具体的な手順と技術を習得

○ こころのケア研修

戦災でトラウマを抱えた**家族等への心理的援助を進める**ため、**メンタルヘルスケアの専門的人材を育成**

- ・ 研修期間 2週間
- ・ 受入人材 心理士等6名程度
- ・ 研修講師 こころのケアセンター医師、外部講師（戦災対応の経験を有する臨床心理士等）
- ・ 実施内容 心理的支援・援助方法の習得

■社会基盤の充実・強化 (公共事業・直轄事業)

114,522,111千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
53,653,852	5,301,702	49,831,100	5,735,457

○公共事業：104,392,111千円

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
道路・街路	(主)加古川小野線 東播磨道(加古川市～小野市)	道路改良、橋梁上部工等	36,804
	(国)178号 浜坂道路Ⅱ期(新温泉町)	道路改良、トンネル等	
	(主)明石神戸宝塚線 甲山大橋(西宮市)	橋梁補修	
	(主)明石高砂線 相生橋西詰交差点(高砂市)	交差点改良	
	(都)尾上小野線 安田工区(加古川市)	道路改良	
河川	武庫川(尼崎市、西宮市)	河道拡幅	11,130
	津門川(西宮市)	地下貯留管整備	
砂防	吹上谷川(神戸町)	砂防堰堤工	8,231
海岸・港湾	姫路港海岸(姫路市)	大江島排水機場更新等	3,982
公園	明石公園(明石市)	公園施設更新	1,392
区画整理	英賀保駅周辺地区(姫路市)	JR立体交差	808
農業農村	夢前町宮置地区(姫路市)	ほ場整備	10,762
造林	波賀町上野(宍粟市)	間伐等	1,650
林道	千ヶ峰・三国岳線(朝来市生野町黒川～多可町加美区奥荒田)	森林基幹道整備	503
治山	坂本(養父市)	治山ダム工	3,794
漁港	沼島漁港(南あわじ市)	港口水門整備	1,434
漁場整備開発	紀伊水道由良第2(南あわじ市)	増殖場造成	912
経営構造改善	中川原地区(洲本市)	農業用機械等整備	50
林業構造改善	村岡区(香美町)	木質バイオマス供給施設	10
漁業構造改善	香住漁港(香美町)	廃棄物等処理施設整備	263
小計			81,725
流域下水道事業	兵庫東流域下水汚泥広域処理場(尼崎市)	汚泥処理施設改築等	22,667



東播磨道(加古川市～小野市)



浜坂道路Ⅱ期(新温泉町)



兵庫東流域下水汚泥広域処理場(尼崎市)

○国直轄事業：10,130,000千円

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
道路	(国)175号 西脇北バイパス、(国)483号 豊岡道路	道路改良等	5,688
河川	加古川(加東市)、円山川(豊岡市)	築堤等	2,323
砂防	六甲山系(神戸市)	砂防堰堤工	1,155
海岸・港湾	姫路港広畑地区(姫路市)	岸壁整備等	480
公園	国営明石海峡公園(神戸市、淡路市)	公園施設更新	164
土地改良	東条川二期(加東市・小野市・三木市)	ダム耐震対策	320



姫路港広畑地区(姫路市)

【担当課室一覧(公共事業)】

区分	担当課室	連絡先
道路・街路	土木部道路街路課国道・橋梁班	078-362-3517(内線4378)
	土木部道路街路課県道班	078-362-3516(内線4376)
	土木部道路街路課街路班	078-362-3547(内線4474)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3524(内線4399)
河川	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
	土木部総合治水課施設班	078-362-4028(内線4424)
砂防	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
海岸・港湾	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3540(内線4452)
公園	まちづくり部公園緑地課整備班	078-362-9310(内線4491)
区画整理	まちづくり部都市計画課区画整理班	078-362-9305(内線4673)
農業農村	農林水産部農地整備課基盤整備班	078-362-3430(内線4041)
造林	農林水産部林務課森林整備計画班	078-362-3461(内線4109)
林道	農林水産部林務課森林整備計画班	078-362-3461(内線4109)

【担当課室一覧(国直轄事業)】

区分	担当課室	連絡先
治山	農林水産部治山課治山班	078-362-3469(内線4132)
漁港	農林水産部水産漁港課漁港漁場整備班	078-362-3484(内線4177)
漁場整備開発	農林水産部水産漁港課漁港漁場整備班	078-362-9233(内線4174)
経営構造改善	農林水産部農業経営課集落農業活性化班	078-362-3407(内線3940)
林業構造改善	農林水産部林務課木材利用班	078-362-3460(内線4106)
漁業構造改善	農林水産部水産漁港課漁業経営班	078-362-9229(内線4150)
流域下水道事業	土木部下水道課計画指導班	078-362-3554(内線4500)

【担当課室一覧(国直轄事業)】

区分	担当課室	連絡先
道路	土木部道路街路課国道・橋梁班	078-362-3517(内線4378)
河川	土木部河川整備課企画防災班	078-362-3530(内線4417)
砂防	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
海岸・港湾	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3539(内線4450)
公園	まちづくり部公園緑地課企画管理班	078-362-3549(内線4487)
土地改良	農林水産部農地整備課農村計画班	078-362-3429(内線4012)

■ 災害に強い県土づくりの推進 (県単独事業)

9,700,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	60,000	9,640,000	0

1 緊急防災・減災事業：2,500,000千円

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策と連携し、地震・津波対策等を実施（事業期間：令和3～7年度）

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
橋梁	(国)250号 新網干大橋 (姫路市)	橋梁耐震化 等	900
	(国)427号 日野大橋 (西脇市)		
落石防止	(国)250号 (赤穂市)	道路法面の防災対策	428
	(国)429号 (朝来市)		
河川等 地震対策	旧左門殿川 (尼崎市)	護岸等の強化	1,172
	尼崎西宮芦屋港 (尼崎市)	物揚場整備	



夙川橋 橋梁耐震 (芦屋市)

2 緊急自然災害防止対策事業：4,920,000千円

防災・減災、国土強靱化のための5か年加速化対策と連携し、高潮対策や治水対策、土砂災害対策等の防災・減災対策を県単独で実施（事業期間：令和3～7年度）

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
高潮対策	洲本港海岸 (洲本市)	防潮堤整備等	600
河川対策	志染川 (三木市)	河川中上流部治水対策	1,600
	八代川 (朝来市)		
土砂災害対策	仙願寺川 (丹波篠山市)	土砂災害対策	1,200
	樋詰(1)地区 (神戸市)		
道路防災対策	(国)482号 (豊岡市)	雪害対策	800
	(主)福良江井岩屋線 (淡路市)	道路情報板LED化	
山地防災	大河 (神河町)	治山ダム工	720
	但東町唐川 (豊岡市)		



赤松川 砂防堰堤 (加西市)

3 緊急浚渫推進事業：2,280,000千円

大規模な浸水被害等が相次ぐ中、事前防災を図るため、計画的に堆積土砂等を撤去し、事前防災対策を推進（事業期間：令和2～6年度）

事業名	主な箇所	事業内容	金額(百万円)
河川	千種川（赤穂市）	堆積土砂撤去	2,000
	矢田川（香美町）		
砂防	石堂川（養父市）	堆積土砂撤去	100
農業用ダム	大杉ダム	堆積土砂撤去	180



千草川 堆積土砂撤去（洲本市）

【担当課室一覧】

緊急防災・減災事業

区分	担当課室	連絡先
橋梁	土木部道路企画課事業推進班	078-362-9256(内線4367)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
落石防止	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
河川等 地震対策	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)

緊急自然災害防止対策事業

区分	担当課室	連絡先
高潮対策	土木部港湾課港湾整備班	078-362-3540(内線4452)
河川対策	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
土砂災害対策	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
道路防災対策	土木部道路保全課保全班	078-362-3523(内線4397)
	土木部道路保全課保全班	078-362-3524(内線4399)
山地防災	農林水産部治山課治山班	078-362-3469(内線4132)

緊急浚渫推進事業

区分	担当課室	連絡先
河川	土木部河川整備課河川・武庫川整備班	078-362-9332(内線4437)
砂防	土木部砂防課砂防班	078-362-3544(内線4467)
農業用ダム	農林水産部農地整備課農地防災班	078-362-3433(内線4020)

■安全安心な日常の維持管理の強化

2,000,000千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	1,500,000	500,000

- 県民の安全安心に直結する日常の維持管理の強化として、「**道路区画線の引き直し**」、「**通学路等の年2回の除草**」、「**河川堤防の点検前除草**」を実施

○実施内容

区分	実施内容
道路区画線の引き直し	夜間や雨天時の走行の安全性確保に向け正面衝突など重大な事故につながる箇所等の区画線の引き直しを実施
通学路等の年2回の除草	通学生が雑草を避けて車道にはみ出し、危険な状態となっている通学路などで除草を年2回実施
河川堤防の点検前除草	決壊すれば甚大な被害につながる盛土構造の堤防区間において、堤防の管理水準を向上させるため、法定の堤防点検前に草刈りを実施

道路区画線の引き直し



通学路等の年2回の除草



河川堤防の点検前除草



担当課：土木部道路保全課保全班
土木部河川整備課企画防災班

連絡先：078-362-3524（内線4399）
連絡先：078-362-3531（内線4419）

【新】 ■衛星画像による広域漏水調査支援事業

160,908千円

デジタル田園都市
構想交付金

財源内訳

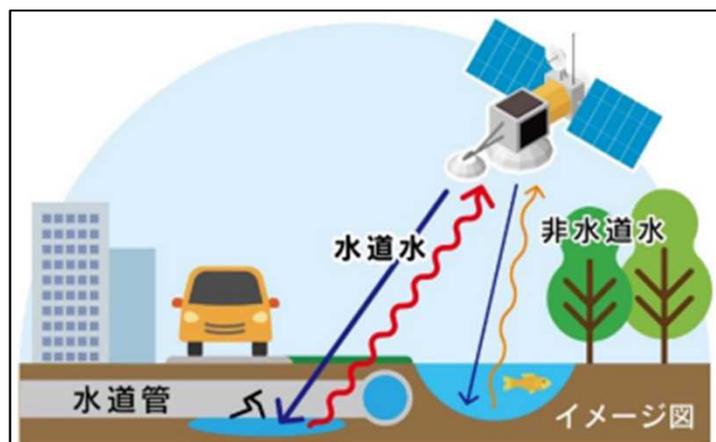
国庫	特定	起債	一般
80,454	80,454	0	0

- ▶ 水道管路の老朽化に伴い、全国各地で水道管破裂による漏水事故が頻発するなか、現行の人力調査では時間と多額の費用を要することから、**デジタル技術を活用した「人工衛星画像による広域漏水探知技術」**を県がとりまとめて共同導入し、調査を効率化

○技術概要

- ・人工衛星から地表へマイクロ波を射出し、水道水特有の反射波を独自アルゴリズムとAIで解析
- ・地中3m程度までの漏水を半径100m円の範囲で抽出可能

○イメージ



○導入前後比較



○参加事業体 27/41事業体 (対象延長14,830km/28,178km)

○負担割合

国：市町等 = 1 : 1

【新】 ■ 地域公共交通キャッシュレス決済導入支援事業

9,494千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	9,494

➤ 公共交通利用時の利便性向上やインバウンド受入環境を整備するため、交通系ICカードのほか、QRコードや非接触型クレジット決済等の**キャッシュレス決済の導入を支援**

○**対象** 県内の地域鉄道・路線バス事業者、JR西日本（県内輸送密度2千人未満のローカル線）

※R6年度実施：北条鉄道

○**対象経費** キャッシュレス決済導入費用

○**負担割合** 国：県：市町：事業者＝2：1：1：2（補助率1/6）



キャッシュレス決済導入イメージ

【新】 ■ビッグデータ活用等渋滞対策 検討事業

18,810千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	0	18,810

- スマートフォンのGPSビッグデータを基に、**人や車の移動経路等を詳細に把握・分析**を行い、分析結果を踏まえた**新たな視点での渋滞対策の施策立案**を実施

○実施内容

区分	実施内容
調 査	移動経路を基に、GPS位置情報ビッグデータを活用し、全県的に全時間帯の交通状況を把握
渋滞分析	渋滞箇所を通過する車の移動経路・時間帯等を分析することで、広域的な渋滞要因を分析し、渋滞対策シミュレーションを実施
対 策 イメー ジ	利用者への呼びかけによるソフト対策の実施 呼びかけ例 交通手段の変更 経路変更、移動時間調整 等

1. 県政改革の推進

【新】 ■ 新しい働き方の推進

269,767千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	5,621	0	264,146

➤ 「生産性の向上」と職員の「働きがいの向上」の両立を図る新しい働き方を推進。本庁においては、**4割出勤の実現を目指した各種のトライアルを展開**

○新しい働き方モデルオフィスの延長：2,406千円

4割程度の出勤率を目指し大胆なテレワークを活用して勤務する「新しい働き方モデルオフィス」について、実施期間を延長し、繁忙期の課題の検証等を実施

- ・ **対象** 総務部、財務部、福祉部、農林水産部
- ・ **期間** R6.3中旬～R6.6中旬



○サードプレイスでのトライアル勤務の実施：4,679千円

職場勤務や在宅勤務に加え、サテライトオフィスやコワーキングスペースを最大限に活用して勤務するトライアルを実施

- ・ **場所** 県民局・県民センター等に設置するサテライトオフィス（R6.7～増設）
コワーキングスペース（起業プラザひょうご等を活用）
- ・ **対象** 本庁各部
- ・ **期間** R6.7～R7.3（各部が1月交代で実施）

○職員用PCのモバイル化、公用携帯電話の活用：262,682千円

テレワークでの生産性向上に向け**職員用PCのモバイル化や公用携帯電話の導入を順次開始**

新しい働き方モデルオフィスの延長

サードプレイスでのトライアル勤務の実施

職員用PCのモバイル化

公用携帯電話の導入

担当課：総務部元町再開発課

担当課：総務部人事課組織給与班

担当課：企画部デジタル改革課システム企画班

担当課：総務部管財課管理班

連絡先：078-362-9048（内線2656）

連絡先：078-362-3078（内線2432）

連絡先：078-362-3049（内線2274）

連絡先：078-362-3110（内線2546）

【拡】 ■ 庁舎再編関係経費

901,830千円

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
0	0	389,800	512,030

- 県庁1号館、2号館、別館及び西館に配置している部局を、3号館、生田庁舎、公館及び職員会館に移転のうえ、移転後に同庁舎を解体

< 本庁舎再編スケジュール > ※1教育委、監査委、人事委、労働委、※2神戸市水道局旧東部センター、※3県立総合衛生学院中山手分校

区分	R5年度			R6年度		R7年度		R8～11年度		
	7～9月	10～12月	1～3月	上期	下期	上期	下期			
本 庁 舎 の 再 編	1号館、2号館、議場棟、別館、西館	解体設計						退去	解体工事	緑地
	3号館	改修設計			退去	改修工事		入居		
	3号館部局※1の仮移転 (住吉※2、中山手※3)	賃貸契約・入居工事			入居		入居		入居	
	生田庁舎、公館、職員会館	改修設計			改修工事		入居		入居	

< 本庁舎再編に係る必要額 >

(単位：百万円)

区分	R5	R6	～R11	計
本 庁 舎	206	0	6,970	7,176
再 編	62	317	1,400	1,780
3号館、生田庁舎、公館、職員会館の改修（オープンオフィス化等）	60	271	2,278	2,610
サーバー・システム等の移転、公用携帯電話の導入	5	314	1,435	1,751
その他（備品購入、公文書保存等）	333	902	12,083	13,317
合計				

【拡】 ■更なる“攻め”のファンドレイジング 129,623千円
(ふるさとひょうご寄附金)

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	129,623	0	0

- 新たな寄附獲得に向け、**より魅力的な返礼品の拡充**や**積極的な営業活動等**により、更なるファンドレイジングの高みへ

令和6年度に向けた目標額とコースの設定	寄附確保に向けた取組
<p>ふるさと納税・その他寄附 目標額：4.3億円 (チャレンジ目標額：5.0億円)</p> <p>寄附対象コース：17 16コース＋クラウドファンディング1コース</p> <p>【主なもの】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・能登半島地震災害ボランティア【7,000千円】 ボランティアに係る活動経費を支援 ・HYOGO高校生海外武者修行【3,000千円】 海外留学支援により高校生の尖った才能を育成 ※クラウドファンディング型にて募集 	<p>個人版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナ5類移行後はトラベルクーポンが返礼品の主役であることから、レジャー施設や飲食店等の現地決済や割引クーポンを扱うふるさと納税ポータルサイトを導入 ・返礼品開拓と広報の一体展開、訴求力のある複数媒体のメディアミックス等により、効果的・戦略的なコミュニケーションを実施 <p>企業版ふるさと納税</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年度に引き続き、東京事務所や金融機関、マッチング業者等との連携の下、積極的な企業訪問・提案活動等を実施

【自主財源確保の強化（ネーミングライツ制度の見直し等）】

- ネーミングライツの対象に事業者による**企画提案型**、県主催イベントの**冠スポンサー枠**を導入
- 主要イベント・事業等での**事業者協賛制度**の導入、県立施設における**広告媒体枠**の設置

【新】 ■ 県民生活向上に向けて必要となる 業務改善に資する取組

145,306千円
デジタル田園都市
構想交付金

財源内訳

国庫	特定	起債	一般
70,451	7,918	54,300	12,637

1 キャッシュレス窓口端末の設置拡大：77,561千円

利用者の利便性向上と職員の事務効率化を図るため、現金及び収入証紙で手数料等を収納している窓口への**キャッシュレス端末の設置を拡大**

- 整備内容 キャッシュレス端末の設置（R5：7箇所7台 → R6：38箇所59台）
- 対象窓口 現金窓口：各県民局・県民センター、各健康福祉事務所等
収入証紙窓口：各運転免許更新センター等



※画像はイメージです。



2 公立高等学校等インターネット出願・決済システムの導入：67,745千円

高校入学者選抜志願者の利便性向上と教職員の事務負担軽減を図るため、**オンラインでの出願・決済から合格者発表までの一連事務を一元管理するシステムを導入**

- 整備内容 公立高等学校等インターネット出願・決済システムの導入

1 に関する事 担当課：出納局会計課総務企画班

連絡先：078-362-3653（内線4909）

2 に関する事 担当課：教育委員会高校教育課教育指導班

連絡先：078-362-9444（内線5736）

2.親しみやすい情報発信の推進

【新】 ■ 多様な地域人材の参画による 県政発信強化プロジェクト

4,000千円

財源内訳			
国庫	特定	起債	一般
0	0	0	4,000

- 県の魅力や県政情報について、発信力の強化を図るため、**一般県民や学生の参画を得て県民目線での情報発信**を行う体制を構築

○実施内容

公募で選定した一般県民や学生が、広報専門人材のサポートを受けながら、県内各地の魅力や県の施策について県民目線で取材を行い、各種広報媒体で発信

・メンバー募集・選定

募集人員 県広報に興味がある県民

[想定]メディア志望の学生、子育て中の若者、地域活動に取り組むシニア等

選定人数 30人

・広報専門人材による育成

回数 月2回程度のペースで講義

講師 広報プロデューサー、メディアディレクター

内容 効果的な広報ノウハウ、SNS発信のコツなど

・メンバーによる取材・記事制作

専門人材のアドバイスを受けながら、実際に現場を取材して記事を作成し、各種広報媒体（県民だより、県ホームページ、U5H等）で発信



**Hyogo
Prefecture**